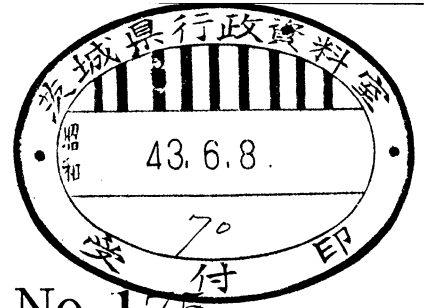


統計茨城



No. 175

5. 1968

| | |
|---|----|
| ■ 住民参加の首都圏総合計画…………… | 1 |
| ■ 計量経済モデルの内容と利用(その3) …… | 3 |
| ■ 県内の産業(32) …… | 4 |
| ■ 県内出稼労働者の状況…………… | 7 |
| ■ 減少が目立つ漁業従事者世帯、 沿岸漁業就業者…………… | 10 |
| ■ 県内主要経済指標…………… | 12 |
| 1. 通貨・手形・株式・百貨店・労働市場… | 12 |
| 2. 世帯・人口および人口増減…………… | 13 |
| 3. 人口動態…………… | 13 |
| 4. 消費者物価指数(水戸市)…………… | 14 |
| 5. 県内金融機関別預金残高…………… | 15 |
| 6. 〃 貸出残高…………… | 15 |
| 7. 農産物の販売価格(平均)…………… | 16 |
| 8. 農産用品の購入価格…………… | 16 |
| 9. 茨城県工業生産指数…………… | 17 |
| 10. 産業別推計労働者数・平均労働時間 および平均月間給与額…………… | 18 |
| 11. 主要品目小売価格(水戸市)…………… | 20 |
| ■ 統計漫歩(35)…………… | 22 |
| ■ 統計ニュース…………… | 23 |
| ■ 統計調査の紹介…………… | 23 |

住民参加の首都圏総合計画

首都圏総合計画協会理事長 蠟 山 政 道

首都圏総合計画の意義とその在り方

いつたい総合計画とは、どういうものなのか、ここで一応あらためて定義しておく必要があるように思はれる。

総合計画ということばは多くの場合に頻りに用いられているので、いまさらその必要はないように思はれるけれども、多くの専門家の協力によつてしか策定しえない首都圏総合計画のごとき場合においては、一応その必要は認められるであろう。

ところで、一般に地域総合計画といわれているものはどういうものか。もちろん、その定義については、いろいろあつて、だれでも一致しうるようなものはない。一口に地域総合計画といつても、その構造や要素や側面はきはめて多岐にわたっている。しかし、総合計画の定義を下す場合に、つぎの諸要因または諸側面は、地域総合計画のあり方を考える場合に大いに役立つものと考えられる。地域総合計画として取り入れられねばならぬ第一の要因は、だれでも目でみてすぐわかるように、道路その他の重要な土木建設のごとき物的施設、とくに都市化しつつある地域や環境に対する施設計画である。

第二に、地域総合計画はその地域の開発または再開発における歴史的動向と密接に結合されなければならない。それは地域の開発や発展動向が一様でなく、そこに地域的相異があり、とくに首都圏ごとき、諸種の要因による東京への人口集中やその産業の集積による過密化のはげしいところにおいては、その総合計画はその地域の歴史的な発展動向をできるだけ正確に把握しなければならない。第三は、地域総合計画は経済的動因のみならず社会的要因や福祉的条件を認識し、それをとり入れねばならない。こうした構造的要因をとり入れた地域総合計画の定義は、これを首都圏の場合に、つぎのごとく規定しよう。

首都圏のごとき大都市圏の総合計画は、その圏域に関連するあらゆる要因、とくに物的、経済的および社会的要因を、その歴史的な発展動向において把握しつつそれを内容として取り入れるとともに、人間的福祉を目標として、それらの斉合、すなわち両立統一性を図るものである。

わが国においても、首都圏をめぐる戦災の復旧を目的とした首都建設法から現行の首都圏整備法にいたる過去18年における総合計画の歴史的動向は、一步一步この

定義に近づきつつあることを示している。米国の歴史はわが国より一步進んでいるが、ここに、最近米国連邦政府が、都市圏の地域計画に対する補助金プログラムと関連して、総合計画について下した定義がある。これは、われわれが総合計画について考える場合に、大いに参考となるように思はれる。それは、総合計画に行政上の調整までを含めたもつとも広義のしかも高度の定義である。

曰く、都市の需要に直接の関連ある限りにおいて、土地利用および公共施設（交通施設を含む）の供給に関する全般的施設計画を準備するとともに、その長期的な開発計画に伴う長期的な財政計画。その投資の改善とその長期計画。当該（市）政府の各部局のつくすすべての計画の総合調整。計画活動に関する関係地域（市）政府間の相互関係。計画実施に必要な条例や行政手段の準備

これは、米国連邦政府が都市圏計画にあてる財政補助の条件として、各都市政府にもとめた総合計画の在り方であるので、総合計画の定義としてはやや広義に過ぎるように思われる。しかし、日本でもすでに国土総合開発法の全国計画における地域格差是正を目的とする拠点開発施策として、新産都市の指定も行なわれている今日、やがて大都市圏計画にもこうした総合計画を条件として、国の政府が財政的援助を行なうことが問題となるときがくるであろう。そうしたときには、こうした行政的機能まで含めた総合計画の定義が参考となろう。

そう考えてくると、総合計画の策定には、国の計画と地方公共団体首都圏の場合には東京都を始めとする1都7県の計画との間に協力体制がつくられ、両者が補完しあうようにならねばならない。そのためには、国ならびに地方団体の計画に共通指標が見出されねばならない。それに従つてそれぞれの特殊の指標を含みながらも、一つの総合計画が策定されうる。わたくし自身、まだ不勉強で、首都圏8都県の整備開発計画または振興計画なるものを、こうした共通指標の立場から比較研究したことがないけれども、目下それも専門学者の手によつて検討されつつある。こうした地味な研究がなければ、かりに首都圏整備委員会によつて策定される総合計画に東京都を始めとする8都県の見解がとり入れられ、反映しているとして、それで真の意味の総合計画とはいえないような気がする。

従来、日本においては、地域開発における総合計画や大都市計画の樹立策定は、もっぱら政府行政機関とくに中央政府の手によつて行なわれてきた。それは中央政府が法律上の権限と予算をもっている上に、審議会や調査会を通じて、または参与顧問の資格において、民間や大学の専門的技術的知識を吸収しえたからである。しかし、民間団体の場合はもちろん、地方公共団体の場合ですらそれはゆかない。米国のシカゴやニューヨークに見られるように民間の手で総合計画を策定することは、従来の日本では資金およびスタッフの関係から困難であつて、その例はない。今日まで戦後20年の総合計画は、すべて「住民不在の計画」と外人から批判されているのである。

しかし、最近日本でも、事情が変わりつつある。中部圏や近畿圏にその例が現われている。いまや市民の協力参加という新しい推進力が加わらなくては、首都圏総合計画のごとき困難な作業は、強力な中央政府の場合でも、それは、中央政府自体の行政機構における縦割り主義と地方自治体の割拠主義によつて、広域的総合計画の策定とその実行には大きな障害があるからである。

首都圏行政改革の困難な理由—「住民不在」

そのよい例は、いまから4年前、昭和39年に臨時行政調査会が政府に緊急答申した「首都行政の改革」が今日にいたるまでまったく棚上げになつてきていることである。この改革案の作成にはわたくしも委員として加わつたのであるが、その策定方針は(1)政府各省の縦割り主義に対して、総合計画に基づいて調整すること、(2)地方自治を尊重しつつその協力を確保するため評議会を設け、そこに自治体代表と民間団体代表を参加せしめること、という二大方針の下に、(3)首都圏庁を設け、その長官を閣議に加わらしめることとしたのである。

これは、一方において東京を中心としてみられる交通のマヒと事故、通勤難、水キケン、住宅不足、公害発生等に対して緊急な対策を立てる必要があるので、他方においてこれまでの広域圏行政の歴史的動向の流れに即して、ここで首都圏整備委員会を—挙に格上げする時機がきたと判断された結果である。すなわち緊急性と歴史性とを結合したものであつた。そのとくに重要な認定として、つぎの諸点が指摘されている。

- 1 複雑多岐にわたる行政需要の増大
- 2 首都行政における責任の所在の不明確
- 3 住民の首都行政に対する理解と協力の欠如
- 4 首都行政の特性および緊急性に対する国の配慮の欠如

そして、こうした状況や事態に対処しうる行政改革を

行うにあつて、その基本的な考え方として、つぎのような諸問題が考慮された。

- 1 地域総合開発整備計画の必要性
- 2 応急施策の実施
- 3 強力な計画、調整機関の設置
- 4 地方自治の尊重

そして、「首都圏計画の在り方」について、つぎのごとく素描を試みている。

(ア)首都圏計画の地域対象を、現行(昭和三十九年当時)のように既成市街地、近郊地帯および市街地開発区域のみに限定せず、その他の区域についても、首都圏の整備開発の見地から、特に重要な事項に関する地域については、計画対象地域に取り上げるよう措置されなければならない。

(イ)首都圏計画は、単なる物的施設計画でなく、住民福祉の向上、経済の振興、土地の合理的利用等の要請をみたしうるものでなければならない。また、計画の実効を期するため、それぞれの計画について財源負担、財源調達の方策等を明らかにする必要がある。

(ウ)首都圏計画に取り上げべき事項の選定にあつては、地方公共団体の固有の権限を侵さないよう特に配慮し、次に掲げる事項のうち、広域性を有するもので緊急かつ根幹的なものが取り上げられなければならない。

(ク)人口の配分、産業の配置および土地利用の方針

(カ)産業基盤の整備

a 交通通信施設の整備(道路、鉄軌道、港湾、空港、自動車ターミナル)

b 水資源の開発利用

c 工業用地の造成

(キ)国土保全施設の整備

a 河川の整備

b 低地対策

(ク)住宅および生活環境の整備

a 住宅および宅地の整備

b 市街地の再整備

c 上下水道、終末処理施設および清掃施設の整備

d 公害対策

(ケ)文教施設および民生福祉施設の整備

つぎに、調整機能は、この首都圏庁および評議会の重要な行政機能であるが、それについてここでかんたんに述べると、

(ア)国の関係予算(財政投融资を含む)の編成にあつては、首都圏庁長官が認証することとして(この場合、認証とは、各省関係経費の見積り方針を調整して、大蔵大臣に意見を述べ、この意見に対する大蔵大臣の尊重義務を明確にすることを意味する)道路、水等が首都圏計画に関連し、特に緊急かつ根幹的なものについては臨時特例的に首都圏庁予算に一括計上する。

(イ)自治大臣は、関係地方債の起債枠の策定にあつて

は、首都圏庁長官と協議することとする。

(イ)各省庁の長は、関係補助金の配分および重要な許認可の実施については、首都圏庁長官と協議することとする。

(ロ)首都圏庁官は、整備開発計画および事業実施計画について、関係行政機関の長、関係地方公共団体または関係事業者に対し、必要な勧告をすることとする。

(ハ)「調整費」的な特別経費を首都圏庁予算に計上する。

このように、総合計画の策定と行政調整の機能とを合せ有するのが、この首都行政の改革案のネライであった。また、そういう改革への必要が認められていると判断された。

ところが、実際上そういう条件はいまだ熟していなかった。とくに各省の反撥と地方自治体の消極的態度が示され、ついに佐藤内閣は今日にいたるまでこれを取り上げようとしておらない。

(「首都1日研修会」資料)
(「住民参加の首都圏総合計画」から)

◇ 経済統計講座 ◇ No. 9

計量経済モデルの

内容と利用(その9)

県企画室 生井 一郎

6 モデル分析と統計資料

2回にわたり計量経済モデル分析のあらましを述べたが、むすびにかえてモデル分析と統計資料について考えてみたい。統計資料については、モデル分析に限らず、いろいろなことを企画したり、検討したりするうえで重要であるが、ことにモデル分析においては経済上の因果関係を追求するうえで一層重要となってくる。ここでは本県のパイロットモデル作成のため、資料を収集するにあたり気づいた二・三の点について述べることにする。

(1) 時系列上から

年ベースのデータを、当初昭和27年～40年まで集めようと計画したが、結果的には30年以降のものとなった。

30年以前は、統計資料が散佚してしまったり、資料そのものが作られていなかったりして入手できなかった。

また、国調や農林業センサスなど5年毎に行なわれる調査については、その間の動きを説明できる資料があまりなかった。これなどは、中間年次につけて単県の調査で同様のものを行なつてはどうだろうか。

資料の範囲から

最も重要であり欠けているものの一つとして、資本形成とくに民間資本がある。これは最近行なわれるようになった法人企業統計などによれば、法人の投資について産業別に把握できるが、時系列で30年頃からということになると、工業統計による製造業の投資額ぐらいであり、特定の産業しかわからない。個人企業の投資となると現在のところまったく資料がないといつていいのではないだろうか。また、他地域との経済関係を明らかにする、所得の流出入、財貨の移出入についても入手がたいものの一つであった。

これらについては、今後県民所得統計が勘定方式に移行することによつて改善されるものと思われるが、そのためには、新たな調査も必要となつてくるであろう。

(3) 地域別にみて

県内を行政区分によつて、その経済状況をみても意味があるかどうか問題であるが、少なくとも県北を山間地域とその他に区分し、県内を5地域程度に分けてみることは現実的にみて妥協すべきところであろう。しかし、地域別にしかも30年代全期間ということになると、現状では資料が必ずしもそろわなかつたものの一つであった。

以上のような諸点については、今後の整備に期待されるところが大きい。また、モデル分析も最近開発されたものだけに今後に残されたところが多い。しかし、44年頃には本県にも電子計算機が導入されるということであるので、今後は統計資料の整備とあいまつて、モデル分析の実証的研究もより高次なものへと進んで行くものと思われる。〔完〕

〔本稿執筆にあたり参考とした文献〕

- (1) 福地崇生 計量経済学入門 東洋経済 40年6月
- (2) 柴山幸治 計量経済学 ミネルヴァ書房 37年11月
- (3) 金子敬生 地域の経済学 日本経済 41年4月
- (4) 折下 功 地域経済学 中央経済社 41年4月
- (5) 地域部会報告 経済審議会地域部会 42年10月
- (6) 兵庫県地域経済の計量経済学的分析と予測
兵庫県企画部 40年6月
- (7) 宮城県経済の計量経済学的分析
宮城県企画開発部 42年3月
- (8) 千葉県長期計画 主要経済指標付属資料
千葉県企画部企画課 43年1月
- (9) 茨城県経済の計量的分析
茨城県企画室 43年3月
- (10) 茨城県企画室主催 43年2月10日 自治会館
東北大学 鬼木助教 計量モデル研究会 講義メモ

県 内 の 産 業

(その 32)

— 準戦時における経済の推移 —

県統計課 横須賀 弘

県内生産額のうち、製造業に含まれるものを、食料品、紡織、製材および木製品、印刷製本、窯業、化学、金属、機械器具、その他等の業種別にそれぞれ別けてみると、昭和12年では機械器具が約7,000万円で全体の60.0%をはじめ、次いで食料品1,800万円、紡織1,300万円

あります。すなわち、日中戦争勃発後の経済の統制下と産業の軍需的再編成の進展のもとで、軍需産業およびその基礎産業としての重化学工業は著しい発展をみせたのでありますが、昭和16年末からの第2次大戦はこうした傾向をますます助長していったのであります。まず、事業所についてみると、その数は昭和12年から昭和15年の間は各年増加を示し、16年からは減少に向い、17年には125,000工場を数え、これは昭和12年の106,005工場の約1.2倍にあたります。当時の工場統計表による工場数を

第1表 産業別生産額

| | 昭 12 年 | | 昭 14 年 | | 14年 /12年 |
|---------|---------|-------|---------|-------|-------------|
| | 千円 | 構成比 % | 千円 | 構成比 % | |
| 総 計 | 115,779 | 100.0 | 182,626 | 100.0 | 157.7 |
| 食 料 品 | 18,054 | 15.6 | 32,500 | 17.8 | 180.0 |
| 紡 織 | 13,215 | 11.4 | 25,610 | 14.0 | 193.8 |
| 製材及び木製品 | 2,383 | 2.1 | 3,969 | 2.2 | 166.5 |
| 印 刷 製 本 | 306 | 0.3 | 377 | 0.2 | 123.2 |
| 窯 業 | 892 | 0.8 | 1,829 | 1.0 | 205.1 |
| 化 学 | 8,614 | 7.4 | 2,492 | 1.4 | 28.9 |
| 金 属 | 239 | 0.2 | — | — | — |
| 機 械 器 具 | 69,698 | 60.2 | 109,276 | 59.8 | 156.8 |
| 瓦斯及電気業 | 1,272 | 1.1 | — | — | — |
| そ の 他 | 1,103 | 0.9 | 6,573 | 3.6 | 595.8 |

| (年次) | (工場数) | (前年対比) |
|------|---------|--------|
| 昭6年 | 64,436 | 103.5% |
| 7 | 67,318 | 104.5 |
| 8 | 71,940 | 106.9 |
| 9 | 80,311 | 111.6 |
| 10 | 85,174 | 106.1 |
| 11 | 90,602 | 106.4 |
| 12 | 106,005 | 117.0 |
| 13 | 112,332 | 106.0 |
| 14 | 137,767 | 122.6 |
| 15 | 137,805 | 100.0 |

で11.4%等が主なものでありますが、昭和14年には機械器具約1億1千万円で全生産額の59.8%を占め、次いで食料品の3,200万円(17.8%)、紡織2,600万円(14.0%)とその順位に変わりはないが、機械器具で0.4ポイントの減少、食料品で2.2ポイント、紡織2.6ポイントの増加がみられたのであります。

また、その増加率を昭和14年/昭和12年対比でみると、県平均は157.7%であります。「その他」、「窯業」、「紡織」、「食料品」等がそれぞれ59.58%、205.1%、193.8%、180.0%と大きく県平均を上廻り、これに対し「化学」の28.8%、「印刷製本」の123.2%の減少が大きく目立ち、「機械器具」は156.8%と県平均をやや下廻る程度にとどまったのであります。

いままでみてきたとおり、昭和15年9月から昭和16年12月にかけて高度国防国家を目標にすべてを戦争目的に動員する体制に入り、各種事業法、国策会社法、営団法等が制定され、時局は戦時体制期へと移行していったので

となり昭和12年~14年にかけての増加が著しいことがわかり、15年にいたる横ばいとなり、そのまゝの状態第2次大戦へと突入したのであります。それまでの国内状況は昭和12年7月の日中戦争勃発の影響をうけて生産力が増大したのでありますが、これは生産力拡充のための具体的な統制施策が次々に採られ、まず12年9月時局産業に必要な融資を確保する目的で臨時資金調達法や、興銀の時局貸出および日銀の事業金融への選別貸出に關する一連の金融政策が実施されたのであります。次いで、主要な時局産業における生産力拡充のための統制規則が制定されたのであります。すなわち、自動車製造業法をはじめ各種事業法、石油資源開発法、重要鉱物増産法、日本産金振興株式会社法等がそれでありました。

また、原料確保の対策として日満一体の鉄鋼増産50年計画、人造石油増産6ヶ年計画、石炭増産計画等も実施

され、さらに液体燃料増産のための石油業法、人造石油製造業法、帝国燃料興業株式会社法等の産業保護法も発布され、続いて軍需資材の輸入を促進して、これの供給も確保するためには輸出を増進して輸入資源を獲得する必要が生じ、それと並行して民需向輸入の制限や、為替管理の強化が必要となり、輸出入品臨時措置法が制定され、一般民需向輸入、製造、消費、配給等広汎に制限されたのであります。このような一連の施策により民間の一般消費を犠牲として軍需品製造工業は活況を呈し、商工省調べの工業生産量指数は昭和12年の150.6から、13年には173.6に急増したのであります。

前述の年次別工場数をみても昭和12年は、106,005工場で前年の90,602工場にくらべ15,403工場（170.0%）と大きな増加となり昭和14年には、137,767工場となり、ここからも当時の国内経済の変容が推察されましよう。参考までに昭和15年における東京、大阪、神奈川、兵庫、福岡、愛知等の工業県の産業構造を生産額からみてみると

| | | |
|-----|-----|----------|
| 東京 | 第1位 | 機械器具工業 |
| | 〃 2 | 化学工業 |
| | 〃 3 | 金属工業 |
| | 〃 4 | 紡織工業 |
| | 〃 5 | 食料品工業 |
| 大阪 | 第1位 | 機械器具工業 |
| | 〃 2 | 金属工業 |
| | 〃 3 | 化学工業 |
| | 〃 4 | 紡織工業 |
| | 〃 5 | 食料品工業 |
| 神奈川 | 第1位 | 機械器具工業 |
| | 〃 2 | 金属工業 |
| | 〃 3 | 化学工業 |
| | 〃 4 | 食料品工業 |
| | 〃 5 | 紡織工業 |
| 兵庫 | 第1位 | 機械器具工業 |
| | 〃 2 | 化学工業 |
| | 〃 3 | 金属工業 |
| | 〃 4 | 紡織工業 |
| | 〃 5 | 食料品工業 |
| 福岡 | 第1位 | 金属工業 |
| | 〃 2 | 化学工業 |
| | 〃 3 | 機械器具工業 |
| | 〃 4 | 食料品工業 |
| | 〃 5 | 窯業及び土石工業 |
| 愛知 | 第1位 | 紡織工業 |
| | 〃 2 | 機械器具工業 |
| | 〃 3 | 化学工業 |

〃 4 食料品工業

〃 5 金属工業

となり愛知を除いてそれぞれの県の主要産品はいずれも上位を重工業部門によつて占められているところからも戦時体制下に入った国内生産活動の実態がうかがへるのであります。当時本県の工場数は1,157工場でこれは全国第32位にあたりますが各都府県別工場数は第2表のとおりであります。この表から全国の事業所数は137,805事業所でこのうち関東ブロック都府県の事業所数は41,964で全体の約3分の1に当ります。

次に生産額についてみると全国で27,153,142千円でありますが関東ブロック内で占める割合は36.3%で事業所の約30%、従業者数約35%にくらべそのウェイトは大きくなつております。

この生産額を実額からみて多い順に全国各都府県別に別記してみると第3表のとおりであり、本県は第21位に位しており、第1位は東京、2位大阪、3位神奈川4位兵庫、5位福岡と続いておりますが、それぞれの主要産業は前述のとおりであります。

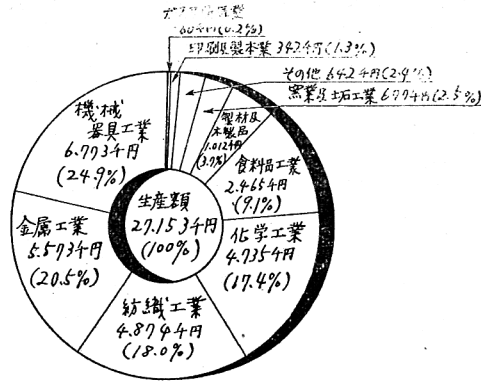
また生産額を産業別にみますと全生産額の24.9%を機械器具工業で占め次いで金属工業20.5%、紡織工業18.0%、化学工業17.4%等となりますが、これらの実態については次号で詳しくみてみよう。

第2表 都府県別事業所数、従業者数

(昭和15年)

| 都府県名 | 事業所数 | 従業者数 | 都府県名 | 事業所数 | 従業者数 |
|------|---------|-----------|------|--------|---------|
| 総計 | 137,805 | 4,503,339 | | | |
| 北海道 | 4,403 | 82,157 | 滋賀 | 1,086 | 37,420 |
| 青森 | 590 | 13,008 | 京都 | 5,199 | 117,555 |
| 岩手 | 813 | 23,085 | 大阪 | 17,618 | 588,206 |
| 宮城 | 967 | 20,146 | 兵庫 | 6,672 | 336,849 |
| 秋田 | 597 | 15,095 | 奈良 | 1,282 | 20,606 |
| 山形 | 1,117 | 28,400 | 和歌山 | 2,269 | 41,871 |
| 福島 | 1,596 | 43,474 | 鳥取 | 442 | 12,424 |
| 茨城 | 1,157 | 47,331 | 島根 | 781 | 21,237 |
| 栃木 | 1,729 | 35,799 | 岡山 | 2,450 | 79,170 |
| 群馬 | 2,087 | 95,823 | 広島 | 3,280 | 100,040 |
| 埼玉 | 3,056 | 91,503 | 山口 | 1,588 | 64,883 |
| 千葉 | 1,664 | 33,763 | 徳島 | 965 | 24,562 |
| 東京 | 21,236 | 801,155 | 香川 | 1,182 | 24,020 |
| 神奈川 | 2,625 | 260,588 | 愛媛 | 1,639 | 53,136 |
| 新潟 | 3,035 | 88,338 | 高知 | 776 | 19,048 |
| 富山 | 1,074 | 59,858 | 福岡 | 2,783 | 180,340 |
| 石川 | 2,279 | 56,005 | 佐賀 | 703 | 17,165 |
| 福井 | 2,995 | 61,413 | 長崎 | 1,116 | 49,821 |
| 山梨 | 1,240 | 23,221 | 熊本 | 863 | 23,288 |
| 長野 | 2,187 | 80,934 | 大分 | 927 | 19,646 |
| 岐阜 | 2,835 | 77,046 | 宮崎 | 640 | 25,618 |
| 静岡 | 4,983 | 119,760 | 鹿児島 | 10408 | 22,111 |
| 愛知 | 12,662 | 393,960 | 沖縄 | 3,385 | 10,771 |
| 三重 | 1,822 | 61,690 | | | |

資料：工業統計表



都道府県別生産額

| 都道府県名 | 生産額 | 都道府県名 | 生産額 |
|-------|------------------|-------|---------------|
| 総計 | 27,153,141,859 円 | 福井 | 220,609,081 円 |
| 東 | | 岩手 | 215,588,801 |
| 大 | | 石川 | 210,941,587 |
| 神 | | 千叶 | 206,419,839 |
| 奈 | | 福 | 186,318,684 |
| 兵 | | 長 | 184,817,114 |
| | | 滋 | 175,802,529 |
| 福 | | 熊 | 154,150,238 |
| 愛 | | 香 | 120,920,158 |
| 北 | | 宮 | 117,617,497 |
| 静 | | 徳 | 106,158,308 |
| 京 | | 山 | 99,510,245 |
| | | 梨 | 96,464,741 |
| 山 | | 形 | 95,551,669 |
| 広 | | 根 | 90,100,245 |
| 新 | | 島 | |
| 埼 | | 宮 | |
| 長 | | 大 | 81,691,850 |
| | | 高 | 81,380,570 |
| 岡 | | 鹿 | 81,182,427 |
| 富 | | 奈 | 80,505,912 |
| 群 | | 佐 | 73,537,901 |
| 三 | | 秋 | |
| 愛 | | 青 | 68,648,074 |
| | | 島 | 66,790,015 |
| 岐 | | 沖 | 54,119,752 |
| 茨 | | 田 | 28,773,105 |
| 和 | | 森 | |
| 栃 | | 取 | |
| | | 縄 | |
| | | 歌 | |
| | | 阜 | |
| | | 城 | |
| | | 山 | |
| | | 木 | |

県内出稼労働者の状況

出稼労働者の就労動向

県職業安定所で、昭和42年中に出稼した者について調査した「出稼労働者就労動向調査」の結果の一部がまとまった。この調査は、出稼労働者について産業別、地域別就労状況と就労条件等を調査して、その動向を把握し、これからの援護対策の資料とするために行なわれたものである。

調査の対象は、昨年1月1日から12月末日までの間において就労日数にかかわらず1年未満居住地を離れて就労した者いわゆる出稼労働者（注…1ヵ月以上4ヵ月未満の臨時就労者及び1年未満の季節労働者）について調査したものであり、調査方法は各市町村を把握して出稼労働者の状況に基づき算出された。このうち職業安定所を通じて就労した者は出稼者台帳等によつて計上したものである。

出稼者総数は11,809人

男89%をしめる

性別にみた出稼者は、男が89%を占めていて、女は11%に過ぎない。これを前年と比較してみると、調査資料が違つているため本当の比較は妥当性を欠くおそれはあるが、参考のため統計課で調査した昭和41年農業基本調査の出稼者数11,581人に比べてみると218人の増加となり、ほぼ同数が引き続いて出稼したことになる。出稼者のうち職業安定所を通じた者は732人で6%に過ぎない。

出稼者の71%が県外へ

出稼者のうち県外へ出稼した者は8,484人で71%を占めている。このうちもつとも多い出稼先は東京都で5,144人で全体の43%を占めている。東京都以外はぐんと少なくなり神奈川県が870人、つぎに静岡県840人で全出稼者のそれぞれ7%にあたり、千葉県736人で6%、埼玉県591人で5%となり、その他の県への出稼はきわめて少数である。これを県外出稼者の割合でみると東京都は県外出稼者の60%を占め圧倒的に多くなつている。つぎに神奈川県10%、静岡県9%、千葉県8%、埼玉県の6%等となつている。このように本県の出稼者の就労地は大部分が隣接県に多く、特に出稼者の大半が東京都である。この点では世帯との連絡等に便であるため恵まれているといえよう。

県外への出稼者は3,325人

一般的に出稼者という感じが与える印象は、他県へ出かけることと考えられるようであるが、この調査から見ると意外と県内の他市町村へ出稼者が多いことがわかる。県内への出稼者は3,325人あつて全体の25%に及んでいる。

建設業に多い出稼者

出稼者の就労した産業では、最も多いのが建設関係で6,552人あり全体の $\frac{1}{2}$ 以上の55%を占めていることが目につく。もつとも、出稼者は臨時的な仕事であるために、あまり技術的な面の少ない単純労働として直接労働力を提供できる建設現場などの就労が手取り早いことでもあり、現在の建築ブームにおける労働力の不足などの関係で賃金などの条件もよいであろうからこの方面に多くの人が出稼に行くことも当然であろう。

農林水産業に23%の出稼者

建設業について出稼者の多い産業は農林水産業であつて2,806人あり、出稼者総数に対する割合は23%に当つている。出稼者はふつう農山村出身が多いが、この調査によると同じ農林水産業関係でも多くの出稼者を受け入れていることがわかる。これは最近、農山村における若年労働力の流出という現象が、農村人口の過疎現象を表わし、農繁期における労働力不足が問題となつている現在、猫の手でも借りたいという農繁期の季節労働として出稼者を受け入れることが多くなつてきた表われであろう。

その他の産業へは出稼者の22%が、

建設業、農林水産業で全体の出稼者の78%を占めて出稼者の代表的な産業であるが、その残りは僅かに2,451人である。このうちでは製造業従事者が大部分をしめ1,720人あり全体の14%である。製造業のうちの筆頭は、食料品製造業へ487人で約29%にあたり、自動車関係が、299人で約17%である。これ以外の製造業にしめる出稼者の割合はごく少ない。その中で紡績関係が89人、弱電気関係99人となり、そのほか各種の製造業を一括したその他の製造業が743人ある。

上記の建設、農林水、製造業以外産業への出稼者数は731人で全体から見れば8%に過ぎない。

昭和42年出稼労

| 産業別 男女別 就労先 (県名) | E 総 数 | | | A 農 林、漁 業 関 係 | | | B 建 設 関 係 | | | G 計 | | |
|---------------------------|----------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--------------|--------------|----------------|----------------|----------------|
| | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 |
| | 総 数 | 11,809 (732) | 9,606 (371) | 2,203 (361) | 2,806 (588) | 1,387 (238) | 1,419 (350) | 6,552 (4) | 6,406 (3) | 143 (1) | 1,720 (136) | 1,346 (129) |
| 県 内 | 3,325 (60) | 2,457 (12) | 868 (48) | 1,234 (58) | 580 (12) | 654 (46) | 1,572 (1) | 1,532 (1) | 40 (1) | 358 () | 228 () | 130 () |
| 県 外 | 8,484 (672) | 7,149 (359) | 1,335 (313) | 1,572 (530) | 807 (226) | 765 (304) | 4,980 (3) | 4,877 (3) | 103 () | 1,362 (136) | 1,118 (129) | 244 (7) |
| 北 海 道 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 福 島 | 12 () | 12 () | () | 1 () | 1 () | () | 7 () | 7 () | () | 3 () | 3 () | () |
| 茨 城 | 3,325 (60) | 2,457 (12) | 868 (48) | 1,234 (58) | 580 (12) | 654 (46) | 1,572 (14) | 1,532 (0) | 40 (1) | 358 () | 228 () | 130 () |
| 栃 木 | 71 () | 44 () | 27 () | 12 () | 8 () | 4 () | 20 () | 19 () | 1 () | 16 () | 16 () | () |
| 群 馬 | 42 (1) | 34 (1) | 8 () | 10 (1) | 5 (1) | 5 () | 25 () | 22 () | 3 () | 3 () | 3 () | () |
| 埼 玉 | 591 (100) | 394 (20) | 197 (80) | 323 (99) | 131 (19) | 192 (80) | 235 (3) | 234 (3) | 1 () | 28 (1) | 24 (1) | 4 () |
| 千 葉 | 736 (19) | 653 (16) | 83 (3) | 41 () | 23 () | 18 () | 492 () | 482 () | 10 () | 162 (19) | 112 (16) | 50 (3) |
| 東 京 | 5,144 (110) | 4,734 (107) | 410 (3) | 1 (1) | 1 (1) | () | 3,763 (3) | 3,681 (3) | 82 () | 928 (103) | 789 (102) | 139 (1) |
| 神 奈 川 | 870 (130) | 634 (52) | 236 (78) | 369 (120) | 147 (42) | 222 (78) | 318 () | 312 () | 6 () | 151 (10) | 150 (10) | 1 () |
| 新 潟 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 富 山 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 石 川 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 福 井 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 長 野 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 岐 阜 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 静 岡 | 840 (312) | 466 (163) | 374 (149) | 784 (309) | 460 (193) | 324 (146) | 3 () | 3 () | () | 53 (3) | 3 () | 50 (3) |
| 愛 知 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 三 重 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 滋 賀 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 京 都 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 大 阪 | 11 () | 11 () | () | 1 () | 1 () | () | 10 () | 10 () | () | () | () | () |
| 兵 庫 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 奈 良 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| 和 歌 山 | 5 () | 5 () | () | 5 () | 5 () | () | () | () | () | () | () | () |
| 岡 山 | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () | () |
| その他の県 | 162 () | 162 () | () | 25 () | 25 () | () | 107 () | 107 () | () | 18 () | 18 () | () |

資料 職業安定課 注()は安定所窓口

減少が目立つ漁業従事者世帯、沿岸漁業就業者

昭和42年漁業就業者調査結果 (農林省茨城統計調査事務所)

漁業センサス間の補間調査として実施している漁業就業者調査(全県250調査区のうち29調査区を抽出して行なった標本調査)による推計結果から見ると、下記のよう傾向が読みとれる。

1 漁業世帯の動き

42年における漁業世帯総数は、4,371戸で41年の4,661戸に比べて6%の減少となった。出漁30日以上の漁業自営世帯は1,122戸全体の26%、漁業従事者世帯は2,886戸66%となり、出漁30日未満の漁業世帯は363戸8%となった。

いずれの世帯も41年より減少しているが、これの要因は鹿島港開発事業等による転廃休業世帯が増加し、また、採貝、採草漁業の不振等もあつて、漁船非使用世帯が減少したことにもよると思われる。

漁業自営世帯1,122戸のうち、専業世帯(漁業専業)は230戸、第1種兼業世帯(漁業を主)380戸、第2種兼業世帯(漁業が従)512戸となつている。これらを41年に比べると、専業と第1種兼業世帯が減少し、第2種兼業世帯がやや増加し、自営漁業全体としては兼業化の進展が見られる。

漁業収入のおもなる世帯数は、自営漁業、やとわれ漁業を含めて3,140戸で全体の78%をしめている。自営農業は622戸16%をしめ、漁業外やとわれ、その他の自営業の順となつている。

家計中心者の専業別を見ると、漁業のみに従事している世帯は2,474戸で62%をしめ、漁業を主とする世帯は16%、漁業に従事しない世帯は6%となつている。

2 漁業就業者の動き

漁業世帯員総数は、20,650人のうち、男子10,444人、女子10,206人となつている。15才以上は13,888人、14才以下は6,762人となり、男子は6%、女子は8%とそれぞれ減少している。

海上作業30日以上の漁業就業者数は、5,102人で41年の5,448に比べて6%の減少となつた。漁業別に見ると、減少率の高いのは沿岸漁業で11%、沖合漁業3%、遠洋漁業3%となつている。沿岸漁業の減少は、採貝、採草漁業等の不振によるものと、鹿島港開発による転廃休業漁業者が続出したことによると思われる。女子の漁業就業者は、労働力の不足とともに一部において若干の増加が見られるが、全国値に比べるとはるかにおよばない。

漁業就業者の年令別構成をみると、15~29才948人19%、30~49才2,924人57%、50才以上1,230人24%となつている。これらを前年と比べると、15~29才層が大巾の減少となり、30~49才層がこれにつき、50才以上はやや増加している。新規卒卒の若手労働力補充が少ない現状から、漁業就業者は年々高令化の傾向をしめしている。

自営漁業のみに従事した漁業就業者は、1,664人33%、自営とやとわれ漁業154人3%、やとわれのみは3,284人64%となつている。従事したおもな漁業種類は、あぐり網1,504人、かつお、まぐろ漁業1,296人となり両漁業で総数の55%としめ、小型底びき、船びき、その他の釣などとなつている。

昭和42年漁業就業者調査結果

世帯：戸
就業者：人

| 項目 | | 年次 | | 40年 | 41年 | 42年 | 42/41 | |
|--------|---------|---------|-------------|-------|-------|-------|-------|------|
| 30 | 漁業世帯 | 総数 | | 4,482 | 4,260 | 4,008 | 94.1 | |
| | | 漁業自営世帯 | 漁船使用 | 1,120 | 1,110 | 1,080 | 97.3 | |
| | | | 漁船非使用 | 90 | 78 | 42 | 53.8 | |
| | | 漁業従事者世帯 | | 3,272 | 3,072 | 2,886 | 93.9 | |
| 日 | 漁業自営世帯 | 総数 | | 1,210 | 1,188 | 1,122 | 94.4 | |
| | | 専業 | | 248 | 262 | 230 | 87.8 | |
| | | 兼業 | 一兼 | 460 | 418 | 380 | 90.9 | |
| | | | 二兼 | 502 | 508 | 512 | 100.8 | |
| 以 上 | 漁業就業者 | 総数 | | 5,650 | 5,448 | 5,102 | 93.6 | |
| | | 自営別 | 自営のみ | 1,810 | 1,762 | 1,664 | 94.4 | |
| | | | 自営と やとわれ | 54 | 50 | 154 | 308.0 | |
| | | | やとわれのみ | 3,786 | 3,636 | 3,284 | 90.3 | |
| | 沿岸・漁業合別 | 沿岸 | 沿岸漁業 | 2,356 | 2,070 | 1,842 | 89.0 | |
| | | | 沿岸浅海養殖 | — | — | — | — | |
| | | 沖合漁業 | | 1,942 | 1,986 | 1,916 | 96.5 | |
| | | 遠洋漁業 | | 1,352 | 1,392 | 1,344 | 96.6 | |
| | 30日未満 | 漁業自営世帯 | 漁業従事者世帯 | | 283 | 265 | 229 | 86.4 |
| | | | 漁業従事者世帯 | | 77 | 136 | 134 | 98.5 |
| 漁業就業者 | | 423 | 480 | 450 | 93.8 | | | |

県内主要経済指標

1 通貨・手形・株式・百貨店・労働市場

| 年 月 | 銀行券 増減(△) | 手形交換高 | | 不渡手形実数 | | 株式取引高 | | 県内 百貨店 売上高 | 労働市場 | | |
|---------|--------------|-------|---------|--------|---------|---------|--------|------------------|--------------|---------------|----------|
| | | 枚 数 | 金 額 | 枚 数 | 金 額 | 株 数 | 金 額 | | 新規求職 申込件数 | 新規 求人 数 | 就職 件数 |
| | 百万円 | 千枚 | 百万円 | 枚 | 千円 | 千株 | 百万円 | 百万円 | 件 | 人 | 件 |
| 昭和 38 年 | △ 988 | 311 | 101,448 | 5,974 | 319,101 | 281,326 | 41,000 | 3,770 | 45,615 | 51,423 | 24,034 |
| 39 年 | △ 5,614 | 355 | 142,640 | 8,828 | 796,395 | 166,210 | 19,185 | 4,341 | 43,724 | 55,018 | 24,833 |
| 40 年 | △ 7,200 | 380 | 147,872 | 10,404 | 847,229 | 300,719 | 34,771 | 4,799 | 42,433 | 42,684 | 20,693 |
| 41 年 | △ 1,345 | 436 | 163,444 | 9,901 | 835,514 | 314,579 | 46,589 | 5,472 | 41,509 | 54,084 | 20,587 |
| 4 1 年 | | | | | | | | | | | |
| 1 月 | △ 6,870 | 30 | 11,920 | 898 | 55,901 | 36,911 | 5,097 | 398 | 3,688 | 3,736 | 1,671 |
| 2 月 | △ 723 | 32 | 11,361 | 894 | 50,462 | 46,835 | 7,070 | 361 | 3,245 | 3,334 | 1,470 |
| 3 月 | 1,068 | 36 | 12,855 | 953 | 56,292 | 45,622 | 7,084 | 453 | 3,566 | 4,042 | 1,719 |
| 4 月 | △ 525 | 34 | 14,331 | 770 | 52,685 | 25,009 | 3,940 | 442 | 3,494 | 4,655 | 1,769 |
| 5 月 | △ 1,277 | 34 | 12,081 | 859 | 71,634 | 28,004 | 4,185 | 357 | 3,757 | 3,933 | 1,734 |
| 6 月 | 1,205 | 41 | 13,328 | 718 | 47,096 | 19,970 | 3,087 | 380 | 3,523 | 4,222 | 1,636 |
| 7 月 | △ 1,220 | 33 | 12,664 | 594 | 49,480 | 20,679 | 3,047 | 497 | 3,499 | 3,874 | 1,736 |
| 8 月 | △ 1,657 | 39 | 14,833 | 1,054 | 84,142 | 17,469 | 2,270 | 339 | 3,749 | 6,556 | 1,736 |
| 9 月 | △ 336 | 35 | 13,213 | 828 | 76,964 | 18,465 | 2,768 | 317 | 3,358 | 6,214 | 1,727 |
| 1 0 月 | 1,755 | 35 | 15,565 | 742 | 79,641 | 15,831 | 2,236 | 463 | 3,692 | 5,963 | 1,905 |
| 1 1 月 | 1,204 | 36 | 14,093 | 808 | 103,194 | 15,914 | 2,162 | 505 | 3,737 | 5,579 | 2,270 |
| 1 2 月 | 6,031 | 51 | 17,140 | 783 | 108,023 | 23,870 | 3,643 | 960 | 2,201 | 2,976 | 1,514 |
| 4 2 年 | | | | | | | | | | | |
| 1 月 | △ 7,110 | 34 | 14,842 | 693 | 84,295 | 31,088 | 3,972 | 442 | 3,808 | 6,755 | 1,653 |
| 2 月 | △ 140 | 36 | 14,325 | 624 | 59,427 | 39,850 | 4,758 | 410 | 3,482 | 4,537 | 1,629 |
| 3 月 | 2,276 | 40 | 16,875 | 748 | 83,047 | 20,802 | 3,181 | 541 | 3,951 | 5,596 | 2,063 |
| 4 月 | △ 796 | 34 | 16,215 | 423 | 43,279 | 14,672 | 2,033 | 509 | 3,604 | 6,074 | 1,630 |
| 5 月 | △ 1,306 | 44 | 16,097 | 1,120 | 103,168 | 30,527 | 4,787 | 424 | 3,678 | 6,128 | 1,709 |
| 6 月 | 1,852 | 45 | 16,640 | 738 | 77,365 | 25,345 | 4,029 | 479 | 3,333 | 5,562 | 1,645 |
| 7 月 | △ 687 | 41 | 16,331 | 671 | 61,832 | 22,084 | 4,202 | 594 | 3,683 | 6,507 | 1,792 |
| 8 月 | △ 2,167 | 41 | 16,153 | 668 | 58,986 | 19,911 | 3,719 | 417 | 3,432 | 6,840 | 1,845 |
| 9 月 | 663 | 40 | 16,914 | 568 | 60,677 | 14,919 | 2,092 | 441 | 3,414 | 6,284 | 1,758 |
| 1 0 月 | 2,012 | 40 | 17,765 | 695 | 73,009 | 18,314 | 3,527 | 536 | 3,251 | 6,774 | 1,783 |
| 1 1 月 | 68 | 40 | 15,792 | 788 | 91,451 | 13,620 | 2,415 | 557 | 3,742 | 5,261 | 2,155 |
| 1 2 月 | 7,588 | 49 | 20,028 | 582 | 76,868 | 10,871 | 1,598 | 1,253 | 2,140 | 4,251 | 1,339 |
| 4 3 年 | | | | | | | | | | | |
| 1 月 | △ 8,329 | 42 | 18,216 | 960 | 127,442 | 12,611 | 1,705 | 571 | 3,787 | 5,789 | 1,675 |
| 2 月 | △ 1,036 | 41 | 15,469 | 946 | 93,561 | 19,764 | 2,712 | 556 | 3,394 | 5,521 | 1,781 |
| 3 月 | 2,106 | 40 | 18,418 | 581 | 80,036 | 29,742 | 4,454 | 828 | 3,545 | 4,972 | 1,931 |
| 4 月 | △ 153 | 45 | 21,086 | 1,192 | 133,152 | ... | 7,308 | 686 | 3,815 | 5,816 | 1,598 |

資料：手形・株式＝大蔵省水戸財務部
銀行券・百貨店＝日銀水戸事務所

2 世帯・人口および人口増減

| 年 月 | 世帯数 | 人 口 | | | 前1カ月の増減 | 自 然 動 態 | | | 社 会 動 態 | | |
|----------|---------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|-------|-------|---------|--------|--------|
| | | 総 数 | 男 | 女 | | 出生 | 死亡 | 増減 | 転入 | 転出 | 増 減 |
| 昭和41年10月 | 453,110 | 2,056,637 | 1,008,221 | 1,048,416 | — | 1,895 | 1,082 | 813 | 6,599 | 7,407 | △ 808 |
| 昭和42年 1月 | 454,543 | 2,057,847 | 1,009,110 | 1,048,737 | 590 | 2,524 | 1,539 | 985 | 6,435 | 6,819 | △ 384 |
| 2 | 454,962 | 2,060,137 | 1,010,355 | 1,049,782 | 2,290 | 3,536 | 1,713 | 1,823 | 6,556 | 6,080 | 476 |
| 3 | 455,394 | 2,062,819 | 1,011,777 | 1,051,042 | 2,682 | 3,446 | 1,528 | 1,918 | 7,066 | 6,284 | 782 |
| 4 | 456,196 | 2,063,636 | 1,012,217 | 1,051,419 | 817 | 3,588 | 1,476 | 2,112 | 11,445 | 12,695 | △1,250 |
| 5 | 457,559 | 2,065,091 | 1,013,250 | 1,051,841 | 1,455 | 3,145 | 1,225 | 1,920 | 14,615 | 15,070 | △ 455 |
| 6 | 458,103 | 2,064,162 | 1,012,778 | 1,051,334 | △ 929 | 3,356 | 1,253 | 2,103 | 8,501 | 11,606 | △3,105 |
| 7 | 458,805 | 2,065,207 | 1,013,384 | 1,051,823 | 1,045 | 2,628 | 1,097 | 1,531 | 7,472 | 7,958 | △ 486 |
| 8 | 459,295 | 2,067,088 | 1,014,495 | 1,052,593 | 1,880 | 2,750 | 1,109 | 1,641 | 6,543 | 6,308 | 235 |
| 9 | 459,841 | 2,069,615 | 1,015,783 | 1,053,832 | 2,527 | 2,806 | 1,108 | 1,698 | 7,266 | 6,444 | 822 |
| 10 | 460,405 | 2,071,277 | 1,016,757 | 1,054,520 | 1,662 | 2,724 | 1,004 | 1,720 | 7,409 | 7,462 | △ 53 |
| 11 | 460,964 | 2,072,847 | 1,017,495 | 1,055,352 | 2,776 | 1,254 | 1,522 | 1,522 | 6,781 | 6,746 | 35 |
| 12 | 461,457 | 2,073,796 | 1,018,048 | 1,055,748 | 2,689 | 1,256 | 1,256 | 1,433 | 6,555 | 7,038 | △ 483 |
| 昭和43年 1 | 461,976 | 2,075,303 | 1,019,005 | 1,056,298 | 2,969 | 1,503 | 1,503 | 1,466 | 6,310 | 6,265 | 45 |
| 2 | 462,467 | 2,076,432 | 1,019,604 | 1,056,828 | 1,129 | 3,357 | 2,081 | 1,276 | 6,965 | 7,110 | △ 145 |
| 3 | 462,941 | 2,077,621 | 1,020,197 | 1,057,424 | 1,189 | 3,113 | 1,891 | 1,222 | 7,062 | 7,090 | △ 28 |
| 4 | 463,596 | 2,078,172 | 1,017,941 | 1,058,231 | △ 4,449 | 3,004 | 1,562 | 2,442 | 12,530 | 18,423 | △5,893 |

資料：県統計課（常住人口推計）

3 人 口 動 態（県医薬務課）

| 年 月 | 出 生 | | 死 亡 | | | | 自然増加 (A) - (B) | 死 産 | | 婚 姻 | 離 婚 |
|--------|--------|------|--------|------|-------|------|-------------------|-------|------|--------|-------|
| | 総数 (A) | 率 | 総数 (B) | 率 | うち乳児 | 率 | | 総 数 | 率 | | |
| 昭和22年 | 69,164 | 34.3 | 28,475 | 14.1 | 5,615 | 81.2 | 40,689 | 3,344 | 46.1 | 22,249 | 1,270 |
| 25 | 59,723 | 29.3 | 24,867 | 12.2 | 4,147 | 69.4 | 34,856 | 5,236 | 80.6 | 17,913 | 1,314 |
| 30 | 44,592 | 21.6 | 18,732 | 9.1 | 2,099 | 47.1 | 25,860 | 4,025 | 81.7 | 14,684 | 1,046 |
| 35 | 35,664 | 17.4 | 17,709 | 8.7 | 1,473 | 41.3 | 17,955 | 3,500 | 87.2 | 16,326 | 996 |
| 40 | 38,357 | 18.6 | 16,888 | 8.2 | 877 | 22.8 | 21,469 | 2,956 | 71.5 | 18,697 | 1,068 |
| 41 | 25,837 | 12.5 | 15,947 | 7.7 | 621 | 24.0 | 9,890 | 2,698 | 89.1 | 18,060 | 1,120 |
| 42. 1月 | 4,549 | — | 1,745 | — | 76 | — | 2,804 | 242 | — | 1,409 | 100 |
| 2 | 3,811 | — | 1,540 | — | 102 | — | 2,271 | 272 | — | 1,633 | 86 |
| 3 | 4,147 | — | 1,523 | — | 66 | — | 2,624 | 262 | — | 1,945 | 109 |
| 4 | 3,493 | — | 1,280 | — | 60 | — | 2,213 | 246 | — | 2,017 | 109 |
| 5 | 3,327 | — | 1,234 | — | 44 | — | 2,093 | 215 | — | 2,012 | 98 |
| 6 | 2,944 | — | 1,112 | — | 47 | — | 1,833 | 198 | — | 1,451 | 78 |
| 7 | 3,153 | — | 1,154 | — | 52 | — | 1,999 | 221 | — | 991 | 92 |
| 8 | 3,127 | — | 1,101 | — | 41 | — | 2,026 | 229 | — | 731 | 98 |
| 9 | 3,078 | — | 1,032 | — | 42 | — | 2,046 | 236 | — | 714 | 99 |
| 10 | 3,056 | — | 1,257 | — | 49 | — | 1,799 | 240 | — | 1,139 | 94 |
| 11 | 3,115 | — | 1,298 | — | 44 | — | 1,817 | 210 | — | 1,807 | 105 |
| 12 | 3,442 | — | 1,608 | — | 69 | — | 1,700 | 217 | — | 2,197 | 98 |
| 43. 1月 | 663 | — | 879 | — | — | — | — | 83 | — | 428 | 16 |
| 2 | 3,742 | — | 2,135 | — | — | — | — | 246 | — | 1,791 | 110 |
| 3 | 3,408 | — | 1,716 | — | — | — | — | 232 | — | 1,822 | 103 |

(注) ① 昭和22年～41年は住所別地に組み替えた数値であるが、42年の各月分は、県内事件発生数である。
 ② 出生・死亡率は、人口1,000人対乳児死亡率は出生1,000人対、死産率は、出産1,000人対の数値である。
 ③ 昭和43年1月分は14日までの結果を計上したもので、15日以後の分については翌月の2月に含まれている。

4 消費者物価指数 (水戸市)

| | 総 合 | 食 料 | | | 生鮮魚介 | 肉 類 | 乳 卵 | 野 菜 | 加工食品 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | 主 食 | 外 食 | | | | | | |
| 昭和38年平均 | 88.7 | 85.4 | 86.4 | 83.4 | 74.3 | 95.8 | 98.7 | 57.2 | 88.2 |
| 39 | 91.5 | 89.2 | 87.7 | 87.5 | 77.2 | 98.7 | 96.6 | 64.0 | 93.7 |
| 40 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 41 | 104.4 | 103.2 | 105.4 | 102.0 | 102.3 | 102.0 | 103.3 | 93.8 | 101.1 |
| 42 | 107.9 | 107.1 | 109.0 | 108.2 | 115.1 | 107.6 | 106.0 | 109.8 | 102.0 |
| 42年 1月 | 106.5 | 105.5 | 106.1 | 103.8 | 112.5 | 101.4 | 102.3 | 121.8 | 101.5 |
| 2月 | 107.2 | 107.5 | 106.1 | 106.3 | 109.0 | 101.4 | 104.3 | 134.8 | 101.7 |
| 3月 | 107.2 | 107.9 | 106.2 | 106.3 | 113.0 | 102.1 | 104.3 | 131.6 | 101.3 |
| 4月 | 107.7 | 107.8 | 106.2 | 108.5 | 115.3 | 102.8 | 94.4 | 141.0 | 101.5 |
| 5月 | 106.3 | 104.4 | 106.2 | 109.8 | 114.5 | 102.9 | 92.9 | 104.9 | 101.6 |
| 6月 | 105.7 | 101.7 | 106.2 | 109.8 | 101.6 | 102.5 | 91.9 | 75.4 | 101.3 |
| 7月 | 105.3 | 100.8 | 106.0 | 109.8 | 112.9 | 104.3 | 99.6 | 54.8 | 101.4 |
| 8月 | 106.1 | 103.0 | 106.0 | 108.9 | 119.3 | 109.2 | 103.1 | 69.4 | 101.3 |
| 9月 | 108.9 | 108.5 | 106.0 | 108.9 | 138.8 | 111.5 | 107.5 | 114.7 | 102.5 |
| 10月 | 112.4 | 116.3 | 117.6 | 108.9 | 117.9 | 117.3 | 122.5 | 162.7 | 103.7 |
| 11月 | 110.6 | 110.9 | 117.6 | 108.9 | 115.2 | 117.6 | 122.2 | 101.1 | 103.3 |
| 12月 | 111.2 | 111.2 | 117.7 | 109.1 | 110.6 | 118.5 | 126.6 | 105.8 | 103.0 |
| 年43 1月 | 111.9 | 112.9 | 117.7 | 109.1 | 124.2 | 111.6 | 125.4 | 121.5 | 103.6 |
| 2月 | 113.2 | 115.7 | 117.1 | 112.8 | 133.1 | 109.6 | 130.8 | 135.7 | 103.6 |
| 3月 | 113.3 | 115.6 | 117.1 | 115.0 | 128.7 | 109.6 | 130.8 | 126.9 | 103.6 |
| 4月 | 114.3 | 114.7 | 117.1 | 115.5 | 132.7 | 110.1 | 118.2 | 122.1 | 103.8 |

(つづき)

| | 被 服 | 光 熱 | 住 居 | 家 賃 地 代 | | | 設 備 修 繕 | 家 具 什 器 | 雑 費 | 保 健 医 療 | 教 養 娛 楽 |
|---------|-------|-------|-------|---------|-------|-------|---------|---------|-------|---------|---------|
| | | | | | | | | | | | |
| 昭和38年平均 | 88.3 | 99.3 | 92.9 | 77.0 | 99.6 | 95.9 | 90.7 | 103.1 | 85.2 | | |
| 39 | 91.1 | 99.3 | 93.4 | 77.4 | 99.0 | 97.1 | 92.8 | 91.8 | 88.8 | | |
| 40 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | | |
| 41 | 103.8 | 97.2 | 105.3 | 115.4 | 105.6 | 100.9 | 107.1 | 99.8 | 108.6 | | |
| 42 | 105.3 | 98.0 | 109.2 | 120.9 | 115.0 | 101.5 | 111.3 | 99.9 | 114.0 | | |
| 42年 1月 | 106.3 | 67.4 | 106.9 | 118.7 | 108.4 | 101.4 | 109.2 | 101.0 | 111.1 | | |
| 2月 | 105.4 | 97.5 | 107.0 | 118.7 | 108.7 | 101.4 | 109.2 | 100.6 | 111.3 | | |
| 3月 | 104.2 | 97.5 | 107.1 | 118.2 | 109.3 | 101.4 | 109.2 | 98.8 | 111.2 | | |
| 4月 | 103.0 | 97.5 | 108.4 | 118.5 | 113.8 | 101.4 | 111.2 | 98.8 | 113.5 | | |
| 5月 | 101.5 | 97.5 | 109.7 | 122.1 | 115.6 | 101.6 | 111.2 | 98.8 | 113.7 | | |
| 6月 | 103.6 | 97.5 | 109.7 | 121.7 | 116.3 | 101.4 | 111.8 | 98.8 | 115.5 | | |
| 7月 | 104.2 | 97.8 | 109.5 | 121.5 | 115.9 | 101.3 | 111.7 | 98.8 | 115.0 | | |
| 8月 | 103.1 | 97.8 | 109.5 | 121.5 | 115.8 | 101.3 | 111.7 | 98.8 | 115.1 | | |
| 9月 | 106.4 | 98.0 | 109.5 | 121.6 | 116.7 | 100.8 | 112.0 | 100.9 | 115.0 | | |
| 10月 | 108.5 | 99.0 | 110.2 | 122.4 | 116.7 | 102.0 | 112.0 | 100.2 | 114.9 | | |
| 11月 | 108.7 | 99.5 | 110.4 | 122.5 | 117.3 | 102.0 | 112.9 | 100.2 | 115.8 | | |
| 12月 | 108.8 | 99.0 | 113.0 | 123.1 | 125.8 | 102.2 | 113.6 | 105.7 | 115.8 | | |
| 43年 1月 | 108.9 | 99.4 | 113.4 | 123.9 | 125.8 | 102.8 | 113.5 | 105.7 | 115.5 | | |
| 2月 | 109.7 | 99.4 | 113.6 | 124.5 | 125.6 | 103.1 | 113.4 | 105.7 | 115.2 | | |
| 3月 | 109.4 | 99.4 | 113.7 | 124.8 | 125.6 | 103.1 | 114.1 | 106.0 | 117.0 | | |
| 4月 | 109.2 | 99.4 | 114.4 | 128.7 | 125.5 | 103.1 | 118.5 | 105.8 | 120.3 | | |

資料：県統計課

5 県内金融機関別預金残高

単位 百万円

| | | 銀行 | 相互銀行 | 信用金庫 | 信用組合 | 農協 | 郵便局 | 商工中金 その他 | 労働金庫 | |
|-------|-----|---------|---------|--------|--------|--------|--------|-------------|--------|-------|
| 昭和41年 | 4月 | 187,971 | 28,682 | 24,392 | 15,352 | 26,856 | 51,735 | 9,616 | 2,310 | |
| | 5月 | 187,334 | 28,587 | 24,438 | 15,589 | 25,941 | 51,792 | 9,549 | 2,318 | |
| | 6月 | 190,156 | 28,991 | 24,656 | 15,907 | 26,027 | 52,759 | 9,828 | 2,466 | |
| | 7月 | 192,365 | 29,522 | 25,296 | 16,327 | 30,093 | 54,007 | 9,914 | 2,526 | |
| | 8月 | 193,568 | 30,035 | 25,476 | 16,458 | 30,438 | 54,579 | 12,039 | 2,560 | |
| | 9月 | 203,410 | 31,396 | 26,309 | 18,257 | 41,242 | 54,826 | 16,931 | 2,556 | |
| | 10月 | 203,265 | 30,813 | 26,927 | 17,181 | 40,614 | 56,040 | 17,139 | 2,548 | |
| | 11月 | 212,104 | 31,313 | 27,566 | 17,397 | 42,232 | 56,567 | 17,124 | 2,589 | |
| | 12月 | 214,900 | 33,408 | 29,528 | 19,911 | 41,189 | 59,822 | 18,055 | 2,865 | |
| | 42年 | 1月 | 211,506 | 32,697 | 28,903 | 18,447 | 44,191 | 61,349 | 17,069 | 2,879 |
| | | 2月 | 210,783 | 33,123 | 29,259 | 18,590 | 40,678 | 61,553 | 14,720 | 2,892 |
| | | 3月 | 221,912 | 37,424 | 30,516 | 20,887 | 36,369 | 61,897 | 14,197 | 2,956 |
| 4月 | | 216,095 | 34,246 | 30,440 | 19,221 | 34,992 | 62,289 | 15,879 | 2,992 | |
| 5月 | | 219,947 | 34,262 | 30,698 | 19,501 | 33,929 | 62,434 | 16,379 | 3,029 | |
| 6月 | | 230,100 | 35,048 | 31,173 | 19,705 | 34,359 | 64,009 | 15,985 | 3,163 | |
| 7月 | | 232,991 | 35,417 | 32,123 | 20,361 | 39,176 | 65,874 | 25,221 | 3,216 | |
| 8月 | | 233,736 | 35,910 | 32,671 | 20,918 | 40,114 | 66,837 | 15,342 | 3,296 | |
| 9月 | | 247,621 | 37,657 | 33,327 | 22,683 | 50,121 | 67,351 | 16,934 | 3,302 | |
| 10月 | | 246,665 | 37,167 | 33,838 | 22,118 | 55,752 | 69,031 | 24,122 | 3,313 | |
| 11月 | | 259,138 | 37,710 | 34,703 | 22,729 | 54,485 | 69,854 | 24,611 | 3,393 | |
| 12月 | | 263,868 | 40,777 | 37,278 | 26,444 | 57,596 | 73,602 | 25,220 | 3,697 | |
| 43年 | 1月 | 255,752 | 39,318 | 36,375 | 24,196 | 54,290 | 75,782 | 27,036 | 3,698 | |
| | 2月 | 255,535 | 39,337 | 36,389 | 24,227 | 51,183 | 76,107 | 25,001 | 3,747 | |
| | 3月 | 256,312 | 40,885 | 37,570 | 26,570 | ... | 76,284 | ... | 3,716 | |
| | 4月 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | |

6 県内金融機関別貸出残高

単位 百万円

| | | 銀行 | 相互銀行 | 信用金庫 | 信用組合 | 農協 | 商工中金 その他 | 労働金庫 | |
|-------|-----|---------|---------|--------|--------|--------|-------------|--------|-------|
| 昭和41年 | 4月 | 112,416 | 20,290 | 16,995 | 14,067 | 13,699 | 8,480 | 1,441 | |
| | 5月 | 113,221 | 19,995 | 17,183 | 14,211 | 14,521 | 8,822 | 1,486 | |
| | 6月 | 113,580 | 20,391 | 17,679 | 14,404 | 15,267 | 10,185 | 1,486 | |
| | 7月 | 113,894 | 21,323 | 18,135 | 14,649 | 15,540 | 8,971 | 1,539 | |
| | 8月 | 112,302 | 21,614 | 18,566 | 15,122 | 15,594 | 9,041 | 1,578 | |
| | 9月 | 114,407 | 22,637 | 19,271 | 16,162 | 14,783 | 9,185 | 1,593 | |
| | 10月 | 103,659 | 22,991 | 19,733 | 15,799 | 14,255 | 9,317 | 1,624 | |
| | 11月 | 116,412 | 23,231 | 20,449 | 16,140 | 15,259 | 6,623 | 1,670 | |
| | 12月 | 122,899 | 24,311 | 21,613 | 17,494 | 15,487 | 9,362 | 1,786 | |
| | 42年 | 1月 | 121,541 | 29,891 | 21,652 | 16,813 | 20,825 | 9,706 | 1,761 |
| | | 2月 | 123,688 | 24,679 | 21,968 | 17,080 | 20,065 | 9,684 | 1,745 |
| | | 3月 | 125,965 | 25,103 | 22,715 | 17,911 | 17,030 | 13,813 | 1,855 |
| 4月 | | 122,726 | 25,139 | 22,874 | 17,286 | 18,037 | 11,727 | 1,868 | |
| 5月 | | 123,941 | 25,273 | 23,274 | 17,446 | 18,892 | 13,738 | 1,884 | |
| 6月 | | 129,584 | 25,658 | 23,506 | 17,681 | 19,770 | 18,277 | 1,875 | |
| 7月 | | 131,458 | 25,704 | 24,139 | 18,026 | 20,082 | 12,356 | 1,926 | |
| 8月 | | 133,782 | 27,213 | 24,684 | 18,430 | 19,921 | 13,358 | 2,007 | |
| 9月 | | 136,651 | 27,750 | 25,425 | 19,588 | 19,609 | 9,980 | 2,019 | |
| 10月 | | 137,884 | 27,880 | 26,022 | 19,565 | 18,843 | 22,602 | 2,086 | |
| 11月 | | 140,773 | 28,204 | 26,788 | 20,264 | 18,292 | 21,654 | 2,131 | |
| 12月 | | 145,822 | 29,314 | 28,129 | 22,101 | 19,388 | 20,264 | 2,296 | |
| 43年 | 1月 | 144,103 | 29,212 | 28,314 | 21,300 | 19,328 | 21,617 | 2,214 | |
| | 2月 | 144,247 | 28,939 | 28,793 | 21,774 | 20,023 | 15,614 | 2,231 | |
| | 3月 | 146,998 | 29,876 | 29,507 | 22,799 | ... | ... | 2,160 | |
| | 4月 | ... | ... | ... | ... | ... | ... | ... | |

資料：大蔵省水戸財務部

7 農産物の販売価格(平均)

| 年 月 | うるち米 (玄米60kg) | 小 麦 (玄麦3等 程度60kg) | ばれいしよ (男爵10kg) | だいこん (葉付10kg) | 生 乳 (飲用10kg) | 鶏 卵 (10kg) | 肉 豚 (生体10kg) | 乳用牛 (めす・生 後4月～6 月ホルス タイン純 種) |
|----------|------------------|-------------------------|-------------------|------------------|-----------------|---------------|-----------------|---|
| 昭和40年 | 6,460 | 2,042 | 233 | 196 | 385 | 1,935 | 2,199 | 45,615 |
| 〃 41年 | 6,350 | 2,124 | 266 | 207 | 407 | 1,896 | 1,910 | 57,777 |
| 〃 42年 4月 | 6,641 | 1,800 | 388 | 221 | 461 | 1,670 | 1,799 | 63,500 |
| 5月 | 6,595 | 1,700 | 414 | 274 | 474 | 1,532 | 1,738 | 51,714 |
| 6月 | 6,536 | 1,700 | 310 | 140 | 474 | 1,521 | 1,845 | 59,375 |
| 7月 | 6,445 | 2,964 | 204 | 215 | 476 | 1,573 | 1,950 | 59,000 |
| 8月 | 6,377 | 2,833 | 211 | 233 | 477 | 1,841 | 2,238 | 59,500 |
| 9月 | 6,582 | 2,500 | 218 | 261 | — | 1,986 | 2,414 | 61,000 |
| 10月 | 7,155 | 2,100 | 277 | 344 | — | 1,996 | 2,470 | 61,000 |
| 11月 | 7,282 | 2,067 | 228 | 229 | — | 1,992 | 2,425 | 61,875 |
| 12月 | 7,264 | 2,067 | 240 | 159 | — | 2,189 | 2,324 | 62,875 |
| 昭和43年 1月 | 7,255 | 2,067 | 250 | 172 | — | 2,176 | 2,243 | 66,125 |
| 2月 | 7,236 | 2,150 | 282 | 176 | — | 2,355 | 2,169 | 66,125 |
| 3月 | 7,236 | 2,150 | 284 | 174 | — | 2,214 | 2,144 | 66,125 |
| 4月 | 7,633 | 2,100 | — | — | 483 | 1,699 | 2,238 | 74,333 |

資料：農林省茨城統計調査事務所 (注) 昭和43年以後の価格は、それぞれの代表生産地における価格である。

8 農業用品の購入価格

| 年 月 | 乳用牛 (成蓄めす ホルスタ イン純種) | 子 豚 (めす・生 後50～70 日中ヨー クシャー) | 硫 安 (N21%か ます40kg) | 過りん酸 灰 (かます40 kg可溶性 りん酸17 %) | 複合肥料 (N8%. P 8%. K5 %30kg) | 配合飼料 (成鶏用20 kg粗たん 白15%以 上) | 配合飼料 (乳牛用30 kg粗たん 白13%以 上) | パラチ オン剤 (46.6又は 46.7%乳 済 単位 100cc) |
|----------|-------------------------------|---|--------------------------|---|-------------------------------------|--|--|---|
| 昭和40年 | 152,701 | 5,446 | 800 | 561 | 807(40kg) | 797 | 1,028 | 191 |
| 〃 41年 | 171,375 | 3,904 | 801 | 572 | 710 | 802 | 1,024 | 188 |
| 〃 42年 4月 | 192,250 | 4,318 | 802 | 594 | 623 | 803 | 1,011 | 185 |
| 5月 | 192,875 | 3,700 | 802 | 595 | 626 | 803 | 1,011 | 185 |
| 6月 | 197,250 | 3,645 | 802 | 595 | 626 | 803 | 1,011 | 185 |
| 7月 | 201,000 | 3,818 | 802 | 595 | 626 | 803 | 1,011 | 185 |
| 8月 | 202,250 | 4,109 | 792 | 591 | 621 | 802 | 1,015 | 185 |
| 9月 | 203,500 | 4,900 | 788 | 591 | 623 | 797 | 1,015 | 173 |
| 10月 | 205,375 | 5,382 | 777 | 585 | 614 | 797 | 1,015 | 173 |
| 11月 | 206,625 | 5,800 | 776 | 584 | 613 | 798 | 1,015 | 173 |
| 12月 | 216,625 | 5,927 | 774 | 582 | 612 | 797 | 1,015 | 173 |
| 昭和43年 1月 | 218,500 | 5,527 | 768 | 580 | 613 | 794 | 1,015 | 173 |
| 2月 | 219,125 | 5,382 | 768 | 580 | 613 | 791 | 1,015 | 173 |
| 3月 | 219,125 | 5,391 | 770 | 586 | 615 | 787 | 1,009 | 173 |
| 4月 | 247,500 | — | 758 | 605 | 625 | 793 | 1,078 | 190 |

資料：農林省茨城統計調査事務所 (注) 昭和43年4月以後の価格は農業地域代表市町村の価格である。

9 茨城県鉱工業生産指数

(35年=100)

| 年月 | 産業 総合 | 公益 事業 | 鉱工業 | 鉱業 | 石炭業 | | | 非金属 工業 | 製造業 | 鉄鋼業 | 非鉄金 属工業 | 一般 機械 | 電気 機械 |
|--------|----------|----------|-------|-------|--------|--------|--------|-----------|-------|-------|------------|----------|----------|
| | | | | | 石 炭 | 炭 業 | 金 属 | | | | | | |
| 昭和36年 | 126.5 | 96.9 | 126.6 | 102.9 | 101.8 | 103.8 | 120.1 | 129.7 | 128.5 | 140.2 | 155.8 | 143.8 | |
| 37年 | 126.1 | 97.2 | 126.3 | 103.5 | 99.1 | 112.6 | 124.8 | 129.3 | 128.5 | 107.9 | 145.7 | 141.7 | |
| 38年 | 140.8 | 84.1 | 141.2 | 105.8 | 101.8 | 113.9 | 139.5 | 145.7 | 133.8 | 138.8 | 169.2 | 145.1 | |
| 39年 | 163.5 | 104.1 | 164.0 | 110.0 | 105.1 | 113.9 | 185.2 | 170.9 | 169.3 | 200.0 | 158.5 | 181.2 | |
| 40年 | 180.5 | 109.4 | 180.9 | 109.4 | 101.2 | 111.6 | 176.6 | 190.6 | 159.0 | 193.8 | 159.0 | 251.2 | |
| 41年 | 201.6 | 303.3 | 201.0 | 118.1 | 117.7 | 114.9 | 152.0 | 211.8 | 183.1 | 211.2 | 192.2 | 279.3 | |
| 41年 4月 | 160.9 | 130.7 | 161.1 | 112.6 | 112.3 | 108.3 | 149.6 | 167.3 | 192.9 | 207.0 | 94.2 | 176.4 | |
| 5月 | 208.4 | 148.4 | 208.8 | 114.0 | 117.3 | 99.5 | 154.4 | 221.0 | 162.4 | 206.3 | 344.0 | 307.1 | |
| 6月 | 207.3 | 264.4 | 207.0 | 119.9 | 118.6 | 121.1 | 139.4 | 218.2 | 182.6 | 218.9 | 223.5 | 326.9 | |
| 7月 | 216.2 | 498.2 | 214.5 | 119.4 | 116.7 | 121.6 | 160.5 | 226.8 | 185.9 | 210.8 | 168.2 | 376.0 | |
| 8月 | 225.2 | 631.2 | 222.8 | 102.7 | 97.2 | 115.6 | 120.7 | 238.3 | 143.9 | 191.1 | 77.3 | 468.8 | |
| 9月 | 182.3 | 482.1 | 180.5 | 110.4 | 105.7 | 118.8 | 154.4 | 189.6 | 199.6 | 171.2 | 308.2 | 201.6 | |
| 10月 | 168.1 | 564.6 | 165.8 | 121.2 | 119.0 | 122.0 | 163.6 | 171.5 | 185.1 | 221.8 | 80.6 | 207.8 | |
| 11月 | 177.1 | 126.9 | 177.4 | 127.3 | 128.0 | 120.6 | 163.3 | 183.9 | 203.4 | 239.2 | 86.2 | 216.2 | |
| 12月 | 194.5 | 396.7 | 193.2 | 134.1 | 137.0 | 120.6 | 176.9 | 200.9 | 175.6 | 237.2 | 157.3 | 223.1 | |
| 42年 1月 | 207.1 | 710.7 | 204.0 | 111.9 | 109.4 | 109.6 | 181.5 | 216.4 | 213.6 | 255.4 | 176.5 | 247.1 | |
| 2月 | 225.8 | 575.8 | 223.7 | 123.7 | 129.4 | 104.0 | 153.6 | 236.6 | 169.6 | 224.8 | 432.8 | 222.7 | |
| 3月 | 186.9 | 606.0 | 184.4 | 118.6 | 122.9 | 103.3 | 144.9 | 192.8 | 205.1 | 228.1 | 115.2 | 185.6 | |
| 4月 | 235.4 | 597.5 | 233.2 | 132.8 | 136.1 | 119.1 | 165.5 | 246.2 | 195.1 | 263.8 | 255.4 | 254.4 | |
| 5月 | 206.1 | 356.1 | 205.2 | 112.5 | 109.5 | 113.7 | 165.1 | 217.2 | 216.5 | 261.7 | 198.9 | 262.2 | |
| 6月 | 195.6 | 102.4 | 196.2 | 107.4 | 104.8 | 106.9 | 168.1 | 207.6 | 206.6 | 242.1 | 122.2 | 257.9 | |
| 7月 | 205.3 | 99.7 | 206.0 | 107.6 | 105.5 | 110.4 | 130.2 | 218.6 | 254.9 | 286.1 | 213.6 | 238.8 | |
| 8月 | 200.7 | 677.1 | 197.8 | 107.3 | 105.6 | 107.5 | 140.4 | 209.5 | 218.9 | 270.7 | 125.3 | 261.9 | |
| 9月 | 203.4 | 892.1 | 199.2 | 95.0 | 91.1 | 98.3 | 153.6 | 212.7 | 198.7 | 320.8 | 155.0 | 240.9 | |
| 10月 | 216.2 | 2,549.5 | 202.2 | 107.0 | 94.0 | 119.3 | 289.3 | 214.5 | 232.8 | 273.2 | 133.9 | 255.7 | |
| 11月 | 207.2 | 848.9 | 202.3 | 106.8 | 99.1 | 111.7 | 231.8 | 214.7 | 213.4 | 262.3 | 131.8 | 260.1 | |
| 12月 | 163.3 | 651.4 | 160.5 | 110.7 | 107.9 | 109.3 | 166.7 | 217.2 | 221.7 | 277.6 | 106.5 | 265.8 | |

(つづき)

| 年月 | 輸送用 機械 | 精密 機械 | 窯業 | 化学 工業 | 石油石 炭製品 | 皮革 工業 | 紙及 パルプ | 織維 工業 | 製材 | 食品 工業 | たばこ 工業 | その他 の工業 |
|--------|-----------|----------|-------|----------|------------|----------|-----------|----------|-------|----------|-----------|------------|
| | | | | | | | | | | | | |
| 37年 | 215.1 | 653.3 | 98.8 | 90.8 | 94.5 | 172.1 | 149.7 | 165.2 | 112.6 | 119.0 | 74.0 | 114.2 |
| 38年 | 266.7 | 1,064.8 | 100.7 | 94.3 | 77.5 | 220.3 | 162.2 | 176.7 | 108.0 | 122.7 | 72.0 | 162.2 |
| 39年 | 318.0 | 1,260.0 | 120.7 | 97.2 | 70.0 | 255.8 | 175.4 | 144.7 | 128.2 | 126.2 | 56.9 | 169.6 |
| 40年 | 295.3 | 1,175.9 | 122.9 | 80.4 | 71.8 | 276.5 | 174.8 | 169.6 | 133.2 | 130.1 | 37.8 | 253.0 |
| 41年 | 330.2 | 1,137.9 | 128.7 | 99.5 | 67.1 | 290.8 | 216.4 | 159.3 | 123.4 | 140.3 | 27.0 | 282.1 |
| 41年 4月 | 359.7 | 1,162.1 | 122.7 | 38.0 | 71.2 | 362.7 | 219.0 | 143.4 | 127.9 | 103.0 | 31.7 | 304.4 |
| 5月 | 261.0 | 1,002.7 | 120.1 | 101.6 | 72.8 | 317.2 | 203.0 | 23.2 | 113.8 | 105.7 | 34.7 | 227.3 |
| 6月 | 303.6 | 1,105.6 | 118.6 | 106.9 | 66.3 | 303.4 | 226.2 | 123.1 | 118.7 | 94.6 | 33.2 | 235.8 |
| 7月 | 335.4 | 1,082.9 | 121.4 | 113.2 | 63.1 | 270.0 | 227.2 | 132.3 | 146.2 | 97.2 | 21.8 | 241.4 |
| 8月 | 324.8 | 971.8 | 136.5 | 117.5 | 61.2 | 275.8 | 220.0 | 166.0 | 117.6 | 97.2 | 11.5 | 265.0 |
| 9月 | 334.4 | 1,175.2 | 129.8 | 117.1 | 60.4 | 250.6 | 223.5 | 229.5 | 147.7 | 93.2 | 24.4 | 244.4 |
| 10月 | 337.9 | 1,012.7 | 119.2 | 93.2 | 63.1 | 291.2 | 231.4 | 177.7 | 152.0 | 66.4 | 24.5 | 280.7 |
| 11月 | 376.5 | 1,179.7 | 143.2 | 108.4 | 61.3 | 279.8 | 207.4 | 173.7 | 127.8 | 78.5 | 22.1 | 326.9 |
| 12月 | 420.5 | 1,133.7 | 173.1 | 92.7 | 69.7 | 376.4 | 231.2 | 183.9 | 138.4 | 124.2 | 22.3 | 349.9 |
| 42年 1月 | 434.3 | 1,172.7 | 146.1 | 125.1 | 53.7 | 385.6 | 243.5 | 189.9 | 131.2 | 169.5 | 12.0 | 308.3 |
| 2月 | 337.0 | 1,038.9 | 103.5 | 102.8 | 70.3 | 445.3 | 225.8 | 159.0 | 138.0 | 280.9 | 19.2 | 342.5 |
| 3月 | 384.0 | 1,165.7 | 152.7 | 109.0 | 64.9 | 302.4 | 241.7 | 182.6 | 141.4 | 265.1 | 18.5 | 233.5 |
| 4月 | 394.0 | 1,391.0 | 148.6 | 115.9 | 70.4 | 388.3 | 248.5 | 182.6 | 138.0 | 331.6 | 18.7 | 321.3 |
| 5月 | 429.5 | 1,096.9 | 145.3 | 101.9 | 56.3 | 318.7 | 244.2 | 143.7 | 124.5 | 125.3 | 15.2 | 322.2 |
| 6月 | 369.9 | 1,264.4 | 119.6 | 118.2 | 54.1 | 317.3 | 184.7 | 193.2 | 114.4 | 171.8 | 12.3 | 315.2 |
| 7月 | 557.5 | 1,443.4 | 121.8 | 124.3 | 53.1 | 325.4 | 245.3 | 160.0 | 117.8 | 101.1 | 12.7 | 290.0 |
| 8月 | 453.8 | 1,100.6 | 152.6 | 131.3 | 51.0 | 363.1 | 255.9 | 190.1 | 124.4 | 99.2 | 11.2 | 291.1 |
| 9月 | 361.9 | 1,175.7 | 143.0 | 152.6 | 49.9 | 353.5 | 255.5 | 199.4 | 119.9 | 100.4 | 12.0 | 286.0 |
| 10月 | 484.0 | 1,102.0 | 153.4 | 137.8 | 49.1 | 424.2 | 263.9 | 255.3 | 131.6 | 125.5 | 11.0 | 277.5 |
| 11月 | 499.2 | 1,214.7 | 153.3 | 141.4 | 40.5 | 549.0 | 257.5 | 209.2 | 134.3 | 120.3 | 10.2 | 312.2 |
| 12月 | 456.5 | 1,089.6 | 168.8 | 133.8 | 41.1 | 456.5 | 257.1 | 206.4 | 141.4 | 130.7 | 3.1 | 344.1 |

資料：県統計課

10 産業別推計労働者数・平均

| | 調査産業総数 | | | 鉱業 | | |
|---------|-----------------------|--------|--------|-----------------------|--------|--------|
| | 本 月 末 者 数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 | 本 月 末 者 数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 |
| 昭和39年 | 164,774 | 193.5 | 29,318 | 11,807 | 199.8 | 34,515 |
| " 40年 | 155,584 | 186.4 | 32,542 | 12,196 | 199.2 | 37,797 |
| " 41年 | 145,483 | 187.2 | 36,878 | 12,902 | 201.0 | 40,549 |
| " 42年 | 146,584 | 191.7 | 42,417 | 11,849 | 193.8 | 45,128 |
| 昭和42年1月 | 142,932 | 178.2 | 33,801 | 12,942 | 194.5 | 36,713 |
| 2月 | 143,380 | 194.1 | 31,292 | 12,815 | 194.9 | 36,135 |
| 3月 | 143,806 | 187.1 | 32,519 | 12,658 | 200.3 | 36,968 |
| 4月 | 146,907 | 197.2 | 32,209 | 12,312 | 189.8 | 35,203 |
| 5月 | 144,932 | 183.4 | 33,776 | 12,073 | 188.5 | 35,670 |
| 6月 | 144,450 | 206.3 | 63,365 | 11,494 | 193.7 | 50,614 |
| 7月 | 146,894 | 178.2 | 45,834 | 11,270 | 189.6 | 43,655 |
| 8月 | 146,703 | 185.3 | 35,452 | 11,311 | 183.4 | 55,623 |
| 9月 | 145,720 | 199.4 | 35,016 | 11,194 | 196.7 | 37,785 |
| 10月 | 143,655 | 195.5 | 36,605 | 11,185 | 193.4 | 42,029 |
| 11月 | 151,618 | 195.3 | 35,778 | 11,435 | 198.4 | 41,727 |
| 12月 | 153,014 | 200.3 | 93,355 | 11,497 | 202.2 | 89,380 |
| 昭和43年1月 | 160,159 | 175.8 | 42,416 | 11,487 | 181.0 | 38,058 |
| 2月 | 159,026 | 195.1 | 35,682 | 11,331 | 195.2 | 40,357 |
| 3月 | 156,975 | 191.3 | 37,806 | 11,225 | 198.2 | 41,648 |

| | 卸売小売業 | | | 金融保険業 | | |
|---------|-----------------------|--------|--------|-----------------------|--------|---------|
| | 本 月 末 者 数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 | 本 月 末 者 数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 |
| 昭和39年 | 8,086 | 192.6 | 25,545 | 5,288 | 180.1 | 37,085 |
| " 40年 | 7,426 | 197.4 | 29,061 | 5,112 | 166.2 | 41,419 |
| " 41年 | 6,498 | 195.4 | 28,924 | 4,634 | 151.8 | 43,758 |
| " 42年 | 6,873 | 191.6 | 31,064 | 4,555 | 169.6 | 46,006 |
| 昭和42年1月 | 5,979 | 185.9 | 23,650 | 4,441 | 158.5 | 40,296 |
| 2月 | 5,899 | 180.8 | 24,095 | 4,605 | 166.7 | 30,818 |
| 3月 | 5,991 | 183.3 | 22,958 | 4,582 | 165.9 | 43,716 |
| 4月 | 6,838 | 202.1 | 24,569 | 4,648 | 177.0 | 35,548 |
| 5月 | 6,713 | 180.8 | 24,286 | 4,470 | 159.3 | 31,728 |
| 6月 | 6,660 | 218.2 | 42,541 | 4,563 | 179.3 | 57,554 |
| 7月 | 7,508 | 198.9 | 30,636 | 4,602 | 178.7 | 52,035 |
| 8月 | 7,438 | 176.8 | 25,541 | 4,641 | 181.5 | 34,862 |
| 9月 | 7,366 | 191.6 | 26,156 | 4,661 | 173.3 | 51,339 |
| 10月 | 7,317 | 192.5 | 27,826 | 4,507 | 165.9 | 38,557 |
| 11月 | 7,348 | 184.6 | 27,795 | 4,455 | 168.9 | 35,367 |
| 12月 | 7,420 | 203.3 | 72,713 | 4,486 | 160.2 | 100,251 |
| 昭和43年1月 | 7,943 | 175.6 | 28,873 | 4,426 | 159.1 | 48,676 |
| 2月 | 7,208 | 185.6 | 26,818 | 4,452 | 157.9 | 38,835 |
| 3月 | 7,495 | 182.5 | 27,527 | 4,501 | 161.4 | 60,001 |

資料：県統計課

労働時間および平均月間給与額

(30人以上の事業所)

| 建設業 | | | 製造業 | | |
|---------|--------|--------|---------|--------|--------|
| 本月末労働者数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 | 本月末労働者数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 |
| 6,829 | 181.2 | 28,017 | 108,943 | 191.3 | 27,072 |
| 6,047 | 174.2 | 30,625 | 103,093 | 180.7 | 29,999 |
| 5,098 | 165.7 | 30,300 | 96,831 | 175.4 | 34,870 |
| 4,338 | 161.1 | 37,695 | 101,726 | 196.3 | 40,845 |
| 5,056 | 157.9 | 24,324 | 97,328 | 176.6 | 33,278 |
| 5,469 | 164.3 | 26,233 | 97,410 | 198.7 | 30,097 |
| 5,276 | 94.7 | 36,122 | 98,229 | 190.9 | 29,593 |
| 4,796 | 149.8 | 25,905 | 100,949 | 202.6 | 31,048 |
| 3,631 | 140.4 | 27,356 | 100,731 | 184.9 | 33,722 |
| 3,653 | 174.8 | 59,896 | 100,836 | 210.8 | 64,382 |
| 4,114 | 172.0 | 35,751 | 102,035 | 202.3 | 45,427 |
| 3,819 | 171.0 | 27,216 | 102,091 | 184.8 | 33,139 |
| 3,512 | 176.7 | 32,285 | 101,868 | 203.5 | 34,394 |
| 3,585 | 169.5 | 34,668 | 104,892 | 198.4 | 34,661 |
| 4,199 | 183.8 | 35,822 | 106,974 | 198.1 | 34,424 |
| 4,941 | 177.9 | 86,761 | 107,367 | 203.4 | 85,954 |
| 7,033 | 150.3 | 28,966 | 112,628 | 175.9 | 43,993 |
| 7,143 | 142.7 | 26,258 | 111,722 | 200.7 | 35,059 |
| 4,703 | 141.0 | 33,131 | 111,823 | 194.9 | 35,091 |

| 運輸通信業 | | | 電気・ガス・水道業 | | |
|---------|--------|---------|-----------|--------|---------|
| 本月末労働者数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 | 本月末労働者数 | 実労働時間数 | 現金給与総額 |
| 22,167 | 197.8 | 36,607 | 1,623 | 178.5 | 49,490 |
| 19,012 | 192.1 | 40,528 | 1,943 | 174.0 | 55,638 |
| 15,610 | 190.3 | 45,243 | 2,245 | 166.6 | 64,110 |
| 14,456 | 194.2 | 51,829 | 2,377 | 176.0 | 72,459 |
| 14,445 | 188.9 | 37,120 | 2,363 | 155.0 | 52,066 |
| 14,421 | 192.2 | 36,433 | 2,364 | 166.6 | 50,695 |
| 14,302 | 194.6 | 43,533 | 2,336 | 178.7 | 55,140 |
| 14,584 | 193.2 | 37,778 | 2,368 | 170.7 | 56,077 |
| 14,482 | 187.6 | 36,690 | 2,420 | 179.8 | 50,519 |
| 14,428 | 198.1 | 63,314 | 2,403 | 189.5 | 157,833 |
| 14,559 | 195.6 | 49,836 | 2,398 | 186.5 | 54,821 |
| 14,617 | 199.3 | 39,272 | 2,377 | 183.8 | 58,534 |
| 14,335 | 195.6 | 40,128 | 2,369 | 178.6 | 60,239 |
| 14,368 | 192.8 | 47,336 | 2,376 | 181.7 | 54,013 |
| 14,414 | 195.2 | 41,288 | 2,365 | 163.0 | 56,956 |
| 14,518 | 197.8 | 149,220 | 2,354 | 177.5 | 162,616 |
| 14,441 | 189.0 | 41,678 | 2,360 | 159.3 | 54,905 |
| 14,376 | 198.7 | 41,361 | 2,364 | 168.4 | 54,317 |
| 14,425 | 208.8 | 52,443 | 2,376 | 167.4 | 27,028 |

11 主要品目小売価格(水戸市)

| 品目 | 銘柄 | 単位 | 38年 | 39年 | 40年 | 41年 | 42年 | 43年 | 4月 |
|--------------------------|---|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 12月 | 1月 | |
| うるち米 食小干 千ま | 非配給(内地白米) 普通品 1等粉 中 きはだ切身 | 1kg | 84.70 | 125.00 | 131.00 | 129.00 | 140.00 | 140.00 | 136.70 |
| | | 〃 | 95.00 | 92.70 | 104.00 | 103.90 | 108.11 | 108.11 | 108.11 |
| | | 〃 | — | 72.50 | 71.30 | 71.25 | 70.75 | 70.75 | 70.75 |
| | | 100g | 51.80 | 77.00 | 77.00 | 77.00 | 77.00 | 77.00 | 77.00 |
| かいらい丸 煮す 塩け | まがれい丸 するめいか かたくちいわし 切身 並 | 〃 | 30.00 | 28.80 | 33.80 | 37.50 | 31.97 | 32.50 | 41.67 |
| | | 〃 | 11.00 | 20.80 | 17.00 | 19.25 | 17.67 | 16.67 | 14.50 |
| | | 〃 | 40.00 | 38.80 | 37.00 | 38.75 | 40.00 | 40.00 | 42.50 |
| | | 〃 | 27.30 | 61.50 | 70.00 | 70.00 | 66.25 | 67.50 | 66.25 |
| | | 〃 | 30.00 | 43.80 | 43.80 | 64.00 | 64.00 | 64.00 | 64.00 |
| 牛豚鶏ハ 牛 | 肉中 肉上 肉ム ム プレスハム中 びん詰(180cc) | 〃 | 80.00 | 65.00 | 73.30 | 92.50 | 100.00 | 95.00 | 90.00 |
| | | 〃 | 70.00 | 68.80 | 70.00 | 57.50 | 70.00 | 65.00 | 65.00 |
| | | 〃 | 65.00 | 62.50 | 63.80 | 62.50 | 61.25 | 61.25 | 63.75 |
| | | 〃 | 50.00 | 53.80 | 63.80 | 65.00 | 66.25 | 66.25 | 67.50 |
| パタ一 鶏卵 キヤベ 白うれん | 雪印(225g入) 1コ約60g 一卵ツ草 菜 結球 | 1箱 | 170.00 | 170.00 | 170.00 | 175.00 | 175.00 | 175.00 | 175.00 |
| | | 100g | 24.00 | 21.50 | 26.30 | 23.00 | 25.00 | 24.38 | 20.75 |
| | | 1kg | 25.00 | 90.00 | 31.30 | 36.25 | 47.50 | 45.00 | 52.50 |
| | | 100g | 4.88 | 5.00 | 4.33 | 7.75 | 6.75 | 10.25 | 5.00 |
| ねれいし 馬大に ごんじ | ぎよ根 んう | 100g | 4.75 | 5.25 | 3.50 | 6.75 | 6.25 | 5.75 | 5.25 |
| | | 1kg | 30.00 | 32.50 | 37.50 | 55.00 | 57.50 | 60.00 | 55.00 |
| | | 〃 | 7.50 | 17.50 | 3.00 | 13.25 | 32.50 | 26.25 | 42.50 |
| | | 100g | 6.25 | 12.30 | 5.50 | 6.25 | 8.25 | 8.50 | 8.25 |
| 玉あ干 豆納 | 葉玉ねぎを除く 大粒 黒のり中 腐豆 糸ひき納豆 | 〃 | 12.00 | 4.00 | 7.00 | 8.50 | 9.50 | 12.00 | 13.25 |
| | | 〃 | 23.00 | 30.00 | 30.00 | 40.00 | 30.00 | 30.00 | 27.00 |
| | | 10枚 | 120.00 | 223.00 | 145.00 | 195.00 | 185.00 | 192.50 | 250.00 |
| | | 100g | 5.00 | 6.25 | 6.58 | 6.58 | 7.14 | 7.14 | 7.14 |
| ちくあん 梅野 し | 焼並 本づけ中 中粒並 並 キッコマン2ℓ | 〃 | 10.80 | 12.20 | 11.60 | 12.50 | 14.28 | 14.28 | 14.28 |
| | | 〃 | 14.30 | 11.80 | 9.50 | 11.75 | 14.50 | 14.50 | 15.00 |
| | | 〃 | 20.00 | 48.80 | 50.00 | 46.25 | 38.75 | 38.75 | 38.75 |
| | | 〃 | 20.00 | 17.50 | 17.50 | 17.00 | 17.50 | 17.50 | 17.50 |
| み砂食 チヨ キ | 中上白 大豆油、上 明治板チョコ(54g) 森永(12粒入) | 1kg | 80.00 | 85.00 | 105.00 | 110.00 | 112.50 | 115.50 | 115.00 |
| | | 〃 | 190.00 | 136.00 | 134.00 | 123.75 | 126.25 | 126.25 | 126.25 |
| | | 2dl | 35.00 | 33.80 | 33.50 | 33.75 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
| | | 1枚 | — | — | — | — | 40.00 | 40.00 | 40.00 |
| 塩甘 落み り | うるち米粉製 並 バターピーナツ 国光 | 100g | 24.50 | 29.00 | 30.00 | 36.88 | 37.88 | 37.88 | 38.00 |
| | | 〃 | 15.00 | 22.50 | 25.80 | 24.38 | 24.38 | 24.38 | 24.38 |
| | | 〃 | — | — | — | 38.75 | 38.75 | 38.75 | 41.88 |
| | | 1kg | 103.00 | 85.00 | 95.00 | 127.50 | 106.25 | 112.50 | 185.00 |
| バいち 清ビ せ | 台湾産 1級(1,800ml入) (632ml入) 中 | 〃 | — | 2 | 20 | 200.00 | 237.50 | 237.50 | 250.00 |
| | | 100g | — | — | — | — | 90.00 | 100.00 | 33.75 |
| | | 1本 | 675.00 | 675.00 | 710.00 | 710.00 | 750.00 | 750.00 | 750.00 |
| | | 〃 | 115.00 | 115.00 | 120.00 | 120.00 | 120.00 | 120.00 | 120.00 |
| ン | 中 | 100g | 60.00 | 60.00 | 150.00 | 150.00 | 150.00 | 150.00 | 150.00 |

資料：県統計課

“積み上げる数字統計とは何んぞ”

統計という言葉は一般に統計数字の意味に用いられることが多い。また統計方法や統計方法を研究する統計学としての意味もある。統計とは何か、一言に言えば、われわれの周囲の変動している集団現象を観察してこれを数字の形にまとめたものである。ここで集団とは、ある共通性をもつた個体の集まりであり、普通統計数字で記述される必要のあるものは具体的な集団であつて、統計集団の存在を規定するものは、時間（時点、期間）、空間（場所）、属性（標識）の三面から規定されている。

“静態と動態の意義確しかめる”

統計を取り扱ううえで、静態統計とか、動態統計という用語がでてくる。統計集団の存在を規程するとき、時間的な規定として時点と期間による場合がある。ある集団が時点で規定されるか、期間で規定されるかによつてその集団が、静態集団（線集団）、動態集団（点集団）とよばれ、それぞれの集団のもつている量を静態量（貯量、貯え）あるいは動態量（流量、流れ）という。たとえば人口集団をある時点で調査する国勢調査の如きものは静態統計、出生とか死亡のように期間で調査されるものは動態統計である。

“統計の精度あれこれと吟味”

統計調査が、集団の計測操作の一つであるかぎり、その結果の統計数字には必ず誤差があるといわれる。すべての計測操作には、その計測操作に固有の精度があつて、その精度が良ければ誤差は小さくなり、精度が悪ければ誤差が大きくなるのは当然である。統計調査も、われわれ人間の行なう計測操作の一つである限り必ず誤差があるわけで、その誤差をもつとも小さくするために統計調査の企画設計の段階で精度ということが考えられる。誤差には偶然的な誤差（原因が明瞭でない事情によるもの）組織的誤差（測定者の特質、測定器具、測定方法）、不注意によるもの（数字の読み違い、書き違い）などがあり組織的、不注意による誤差は調査者、調査されるものの細心の注意によつて防げるものである。

“鯉のぼり日本男子ここにあり”

五月晴れの天空をバツクに鯉のぼりが、緑の風を腹一杯に喰べて泳いでいる。端午の節句は従来旧歴の5月5日男の子のお祝として行なわれたものであつたが、現在で

は太陽歴の5月5日が子供の日と制定され、昔からの行事はこの日に行なわれるようになった。男の子の生まれる割合は、普通女子100人に対し103人で、男の子が多く生まれることになる。本県の昭和40年の出生数は35,371人で男は18,032人であり女子100に対し104人、昭和41年はひのえうまのため出生数は25,837人と極端に少なかつたが、男子は13,391人性比は大数の法則に従つて女100に対し107人と高い率を示している。

“地震また平和な郷土を襲う”

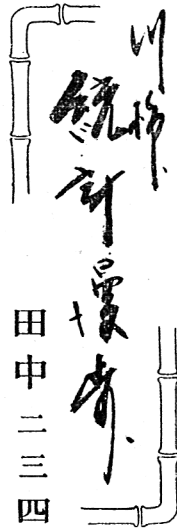
海に囲まれた四つの島の宿命が、天災という自然の働きで大地を振動させ、無惨にも私達の平和なくらしを一瞬にして奪い去つてしまふ。5月16日東北、北海道を襲つた十勝沖地震は、マグニチュード7.8を記録し、多数の人命を奪ひ、建物や道路、鉄道などに大きな被害を与えた。マグニチュードというのは、地震の大きさを表わす単位で光にたとえれば、光源の強さに当るような。これに対して震度とは、その土地土地の地震を感じる程度を示す。光でいえば、光源から光を受けた面の明るさに当たるということだそう。

“パリ会談開始平和が待っている”

いつ止むかわからないベトナム戦に平和をもたらそうとする米、北ベトナム会談が、5月10日からパリで開かれた。全世界の注目を集めているベトナムの激斗が、一日でも早く解決して地球に本当の平和が訪れるか。両国ともそれぞれの言い分はあろうしすんなりと解決できるだろうか。

“田植笠呼べばみんながふり返る”

5月は田植のシーズンである。近ごろは農業技術も進んで最近では1カ月も早く行なわれるようになり農作業が非常に楽になつたそう。以前であるところちようど麦の収穫期と一諾になつてこの時期はテンヤワンヤを繰り返したものである。ただ農村の労働力不足は現在の田植期にも影響して近所同志のよいなどによるものが多いとか。昨年2月1日で調査した本県の水田面積は96,428ヘクタールで、一農家当り約1ヘクタール。米価は政府保証により大きな収入源であり、陸田が増加しているこの面積42年耕作予定地5,365ヘクタールに及んでいる。



69

× × ×
× × ×



第19回全国統計大会開催要領

- 1 主催 財団法人全国統計協会連合会
岐阜県 岐阜市 岐阜県統計協会
- 2 後援 愛知県 三重県 富山県 石川県 名古屋
市
- 3 協賛 総理府統計局 行政管理庁 経済企画庁
文部省 厚生省 農林省 通商産業省
運輸省 労働省 建設省 自治省 日本
国有鉄道 経済団体連合会 全国農林統
計協会 日本統計協会 厚生統計協会
東海ブロック各県統計協会
- 4 期日 昭和43年10月7日（月）8日（火）
- 5 場所 岐阜県美江寺町 岐阜市民会館
（大会場 統計グラフ展示会場）
- 6 参加者 各省庁および全国都道府県、市町村統計
関係者ならびに全国統計協会連合会関係
者
- 7 行事 ○ 第16回統計グラフ全国コンクール入
賞作品展示会（10月7日8日）
○ 統計大会（10月8日）
 - (1) 統計調査事業に功績のあつた個人
および団体の表彰
 - (2) 大内賞の授与
 - (3) 統計グラフ全国コンクール入賞者
の表彰
 - (4) 統計思想と統計技術の普及向上に
ついて審査し、必要事項を関係方
面へ要望する
 - (5) 統計関係者の決意を内外へ宣言す
る
 - (6) 統計従事者の研究発表
 - (7) 記念講演
- 8 大会事務局の設置
本大会の準備および実施のため、第19回統計大会事
務局を岐阜県企画部統計課内に設置する。
第19回全国統計大会次第（10月8日）
 - 8時30分 受付開始
 - 9時30分 開会あいさつ
 - 1 表 彰
 - 2 祝辞および祝電披露
 - 3 受賞者代表謝辞
 - 4 議 事
 - 5 講 演
 - 6 休 憩（昼食）

統 計 調 査 の 紹 介

農畜産物統通調査

この調査は、昭和43年度度県統計調査事業の一つで、
6月1日に実施された。

調査は、農畜産物の移出入の経路、流通過程をとらえ
て、農業行政あるいは経済計画遂行の基礎資料を得るも
のです。

主な解明事項としては、

- 各地域間における農畜産物流通の相互関係、依存度
合の明確化
- 計画生産、計画販売の資料あるいは予測資料の入手
- 企業立地、新市場開拓の基礎資料の入手
- 時期別、地域別の価格形成の資料を得る
などとなっています。